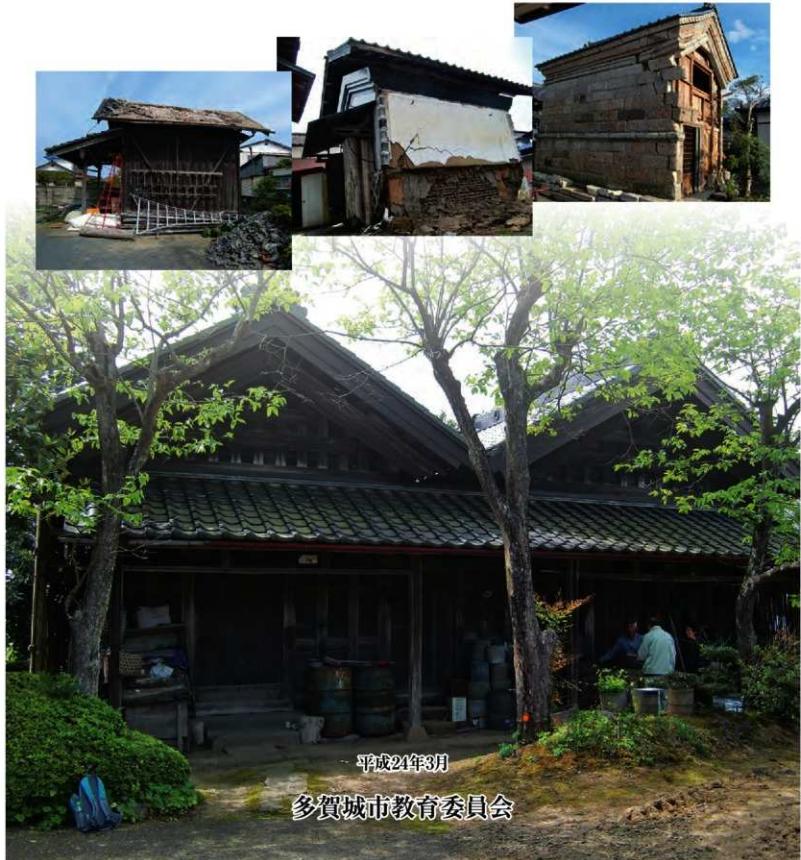


文化財レスキュー活動報告書

－東日本大震災における倉の調査と資料の保全－



あ い さ つ

2011年3月11日午後2時46分、地震規模マグニチュード9.0、最大震度7の巨大地震が発生し、その直後に東北地方から関東地方にわたる太平洋沿岸を襲った津波により、多くの人命が失われ、地域の暮らしを壊滅的にする被害を受けました。

この度の東日本大震災により、東北地方の太平洋沿岸の自治体は、地域経済や社会環境に大きな被害を被るとともに、地域の歴史を今に伝えてきた数多くの文化遺産も甚大な被害を受けました。

多賀城市でも、市内にある多くの文化遺産が被災し、特に津波に襲われた地域の被害は甚大で、危機的状況にありました。

そこで、本市の歴史を形づくる貴重な文化遺産を可能な限り保全し、後生に継承していくため、1ヶ月半にわたり文化財レスキュー活動を実施したところです。これらの活動は、所有者や全国史跡整備市町村協議会加盟自治体の文化財担当職員、関係機関、ボランティア等、多くの皆様の御支援・御協力があって、はじめて実現できたものであります。

この報告書は、市内文化財の被害状況と、文化財レスキュー活動について記録に残すとともに、調査活動で得た成果をまとめたものです。本書が、今後の文化財保全に少しでも役立てることができれば、望外の喜びであります。

最後に、文化財レスキュー活動から本書の刊行に至るまで、御指導・御協力を賜りました関係各位に対して、衷心より感謝を申し上げる次第であります。

平成24年3月

多賀城市教育委員会
教育長 菊地 昭吾

例　　言

- 本書は、平成23年(2011)3月11日に発生した東日本大震災で被災した、多賀城市内の文化財保全活動として取り組んだ、文化財レスキュー活動の成果をとりまとめたものである。
- 今回の保全活動によって寄贈された資料については、未だ保存処理中の資料や読み下し中の文書などもあり、今後調査研究の結果によって明らかになった時期に追加報告を行って行きたい。
- 本書の印刷・刊行に関しては、文化庁の「平成23年度ミュージアム活性化支援事業国庫補助事業」を活用した。
- 今回のレスキュー活動体制等については、以下のとおりである。

調査主体 多賀城市教育委員会

調査担当 文化財課

調査員 澄川ちかこ 鈴木孝行 村松 稔 高橋守克 高倉敏明

協力員 城戸康利 中島恒次郎 山村信榮 井上信正 高橋 学(福岡県太宰府市教育委員会)

乾 哲也(三重県明和町教育委員会)

塙田順正(神奈川県小田原市教育委員会)

太田和子 小野本 敦(東京都国分寺市教育委員会)

宮田尚夫(ボランティア)

調査期間 平成23年5月23日～平成23年7月1日

- 寄贈資料の搬入及び資料整理作業等について、下記の方々の協力を頂いた。

山田あゆみ 小泉茉莉子 星由香里 宮城ひとみ 佐々木清子 丑田明希 村上和恵

千葉都美 菅野良子 滝野とし子 内海美由紀 星栄之進 高橋豊一 青木園翰 鎌田和代 小林廣
小野進 佐々木秀一 星正明 千葉よしこ 高崎敏明 藤本昭二 荒木淑子 安達竹雄

- 協力員として職員の派遣を依頼した市町村は、全国史跡整備市町村協議会(略称「全史協」)の会員として、当市と強い絆をもっている。

- 今回のレスキュー活動から本書の作成に至るまで、下記の方々及び機関から御指導、御協力を賜った。

半田正博(東北芸術工科大学教授) 大山龍頭(同大学嘱託研究員) 高橋恒夫(東北工業大学工学部教授)

東北歴史博物館 宮城県多賀城跡調査研究所

太宰府市教育委員会 明和町教育委員会 小田原市教育委員会 国分寺市教育委員会

仙台市博物館 東京文書救援隊

- 本書の執筆は、次のとおり分担した。なお、編集は、高倉が行った。

澄川(1 - (1)、2、8)、鈴木(6 - (4))、高橋(6 - (3)、7 - (3))

それ以外は、高倉が執筆した。

目 次

あいさつ

例 言

目 次

1.はじめに	1
(1) 市内文化財の被害状況	3
(2) 文化財被害状況写真	4
2.被災した文化財への対応	5
(1) 活動記録	5
(2) 活動の様子	6
3.被災した倉の調査活動の目的と方法	7
4.活動計画と体制について	7
(1) 対象の設定と調査体制	7
(2) 計画スケジュールと工程図	8
5.活動の記録	8
(1) 調査日誌	10
(2) 活動の記録	11
6.調査成果	12
(1) 倉カードの作成	12
(2) 倉調査台帳(一覧表)	13
(3) 倉の実測図作成調査	20
(4) 資料カードの作成	24
(5) 水損文書の応急処置	46
7.まとめ	48
(1) 主な倉の構成と年代	48
(2) 板倉の構造的特徴について	53
(3) 保全資料の処置と記録作成	58
8.おわりに	58
図 版	
第1図 津波浸水区域図	
第2図 板倉実測図	
第3図 板倉実測図	
第4図 石倉実測図	
第5図 資料登録カード	
第6図 資料カード	
第7図 分類コード別一覧表	
第8図 倉の分布図	
第9図 板倉の柱幅と柱間隔の数値分布グラフ	

写 真

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 津波襲来写真 | 42. 東北芸術工科大学での応急処置 |
| 2. 同上 | 43. 文書復旧システム実施状況 |
| 3. 被害状況写真(国道45号線) | 44. 棟札・墨書きされた倉 石倉(市川) |
| 4. 被害状況写真(沖の井) | 45. タ
梁に掲げられた棟札(タ) |
| 5. 館前遺跡 | 46. タ
板倉(市川) |
| 6. 多賀城跡作貫地区四阿 | 47. タ
墨書き1(タ) |
| 7. 八幡神社鳥居 | 48. タ
墨書き2(タ) |
| 8. 倒壊した萩原神社 | 49. 棟札のある板倉(新田) |
| 9. 荒脛巾神社 | 50. 倉の写真 石倉1 |
| 10. 沖の井 | 51. タ 石倉2 |
| 11. 貞山運河 | 52. タ 石倉3 |
| 12. 八幡居家前碑群 | 53. タ 土蔵 |
| 13. 被災を受けた供養碑の調査 | 54. タ 板倉 |
| 14. 災害ボランティアによる沖の井清掃後のようす | 55. タ 複数の倉1 |
| 15. 水損文書発見 | 56. タ 複数の倉2 |
| 16. 埋文センターでの応急処置 | 57. タ 複数の倉3 |
| 17. 海軍工廠建物状況確認 | 58. 繁柱板倉 |
| 18. 高橋・永井先生視察 | 59. タ |
| 19. 館前遺跡の応急処置 | 60. 郷倉として使われた板倉 |
| 20. 瓦礫置き場から救出された石碑と手水鉢 | 61. 「恩賜郷倉」銅製銘板 |
| 21. 倉の聞き取り活動のようす | 62. 二重屋根の板倉 |
| 22. 倉の調査のようす | 63. 平入りの板倉 |
| 23. 倉の整理作業 | 64. 入り口扉に塗装された板倉 |
| 24. 同上 | 65. 竹垣を廻した板倉 |
| 25. 倉収納の資料整理作業 | 66. 板杭を廻した板倉 |
| 26. 倉から出された資料の整理作業 | 67. 破風に化粧された板倉 |
| 27. 水損した文書 | 68. 先祖の名前を入れた鬼瓦 |
| 28. 同上 | 69. 入り口の二重扉 |
| 29. 解体された倉 土蔵(新田) | 70. 入り口の引き戸 |
| 30. タ 土蔵(新田) | 71. 入り口のネズミ返し |
| 31. タ 石倉(市川) | 72. 装飾された持送りと腕木 |
| 32. タ 土蔵(南宮) | 73. 木鼻付腕木と桟組 |
| 33. 実測図作成作業 板倉(山王) | 74. 彫刻付持送り |
| 34. タ 土蔵(南宮) | 75. 彩色された持送り |
| 35. タ 土蔵(新田) | 76. 倉の鍵 |
| 36. タ 板倉(山王) | 77. 腕木付小窓 |
| 37. 資料記録作業 | 78. 倉の見える風景 |
| 38. 資料調査風景 下張り剥がし作業 | 79. 倉の見える風景(2) |
| 39. 同上 | 80. 街道に面した板倉 |
| 40. 発見された水損文書 | 81. 街道に面した板倉(2) |
| 41. エタノール噴霧 | 82. 街道に面した倉の風景 |
| | 83. 街道から見える倉の風景 |

1. はじめに

当市教育委員会は、これまで30年以上にわたって遺跡の発掘調査報告書を作成してきたが、本書のような被災文化財のレスキュー活動の記録を書くことになるとは、思いもよらなかったことである。

平成23年3月11日、午後2時46分に宮城県沖を震源とする巨大地震が発生し、さらに太平洋沿岸を襲った大津波により多賀城市内も極めて大きな被害を受けた。これまで誰もが経験したことのない強く長い揺れと予想も出来ないほどの巨大津波により、市域の三分の一が水没し、その地域の工場地帯と住宅が壊滅的な被害を受けた。

市の小中学校や公民館をはじめとする教育関係施設は、避難をしてきた多くの市民で溢れかえった。市文化センター内にある埋蔵文化財調査センターも例外ではなく、展示室や整理室にも避難者を受け入れざるを得ない状況であった。当然ライフラインは寸断され、市民生活が壊滅的な状態に陥った。市の行政機能も完全に中断されて、職員は当分の間災害対策と市民の救援活動に従事することとなったのである。

その後、およそ1ヶ月過ぎた頃から少しづつではあるが、避難所対応の仕事や災害対策支援窓口業務に従事しながら、本来の業務を再開する時間が取れるようになり、文化財業務もそのころから動き出すことが出来た。

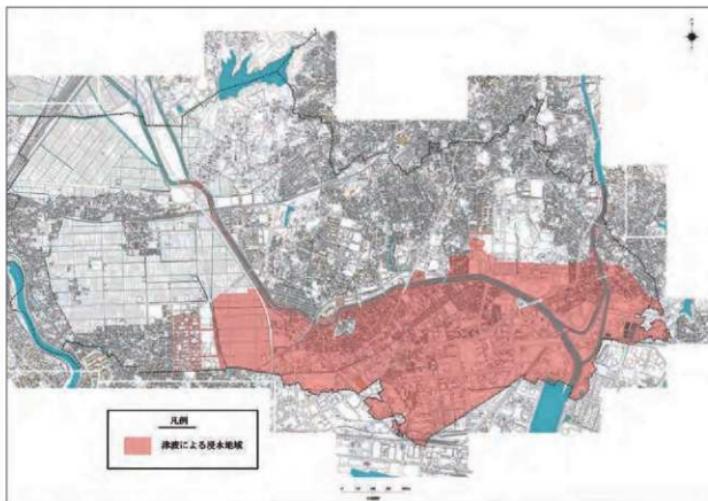
市の文化財被害状況調査を実施する中、津波被害を受けた八幡地区的倉から歴史資料等が震災ゴミとして捨てられている様子を目の当たりにした。さらに、住宅の後片付け中に文書史料が見つかったとの連絡を受け、行ってみたところ文書には既にカビが生えている状態であった。このまま手をこまねいていると、これまで保管してきた歴史資料が廃棄、散逸してしまう恐れを感じた。

このような状況下にあって、私たちに何ができるのか。今、何をしなければならないか。そのことを考えながら、可能な方法と手段を検討し、被災している倉の実態調査と資料のレスキュー活動に着手することになったのである。本報告は、当市教育委員会文化財課が独自に行った文化財資料のレスキュー活動について、その概要をとりまとめたものである。

多賀市の被害状況

東日本大震災による多賀市の被害状況は、以下のとおりである。

- ・震源地：三陸沖 宮城県牡鹿半島の東南東約130km付近
- ・規模：マグニチュード9.0
- ・震度：5強（多賀城市）
- ・津波：仙台港7m、市内2～4m
- ・浸水面積：662ヘクタール（市域の約33.7%）
- ・被災世帯：約6,500世帯
- ・被災者数：約15,000人
- ・避難者数：約10,000人
- ・死者数：188人
- ・行方不明者：1人



第1図 津波浸水区域図



津波襲来



津波襲来



被害状況写真（国道45号線）



被害状況写真（沖の井）

(1) 市内文化財の被害状況

	名 称	3月11日の被害状況	4月7日余震後の被害状況	特記事項・対応等
国 指 定	多賀城跡	・東門・南門トイレの滑化構造破損。 ・南門トイレの南側石垣に亀裂、屋根瓦破損。 ・作貫四阿の石豈・柱基礎などが破損。 ・作貫覆屋の柱根元が破損。	破損がさらに拡大久保地区西阿の柱基礎が割れている。また、園路や石階段等で石すれや陥没による凹凸を確認。加瀬沼に通じる園路にひび割れ陥没を確認。	園路のひび割れ・陥没は雨水有り。
市 指 定	多賀城廢寺跡	トイレ内の水タンク内部品破損。	塔基壇の石階段で石のすれを確認。中門の石階段で陥没を確認。管理棟北側陥没がすれて傾いている。	
	館前道路	法面地割れ。	新たな被害はない。	シートで法面を覆う。
	柏木道跡	未確認。	園路において亀裂等確認。	5月10日南近西側において、擁壁が陥没し、U字溝が破損している状況を確認。
市 指 定	末の松山	異常なし。	歌碑に傾きが見られる。	
	沖の井（沖の石）	津波により冠水。瓦礫、車両等が流入。	新たな被害なし。	5月2日災害ボランティアとともに清掃実施。
	南安楽寺古碑群	碑2基倒伏。	新たに1基（庚申塔）倒伏。	
	新浜不動堂（新田）	碑が倒伏。	傾いていた南殿山碑が鳥居を破壊して倒伏。6基中4基が倒伏（残存しているのは堂内の2基のみ）。	6月11日、碑が元通りに建てられていることを確認。
	阿弥陀堂（新田）	堂内の地蔵が倒伏。	新たな被害なし。	
	日光院（高崎）	堂内の石碑が倒伏。	新たな被害なし。	
	居家前碑群（八幡）	津波により、碑が倒伏。碑の上に車両がのっている状態。	新たな被害なし。	5月23日、碑が元通りに建てられていることを確認。
	八幡橋袂碑群（八幡）	津波により被災。一部傾き、倒伏の恐れあり。	新たな被害なし。	
	八幡沖地蔵（八幡）	覆屋が津波により損傷・傾いている。地蔵尊等には被害なし。	新たな被害なし。	7月17日、覆屋が補修されていることを確認。
	八幡神社	津波により社殿等が被災。合祀神社や鳥居倒壊。石碑も多数倒伏。		4月6日、石碑にラベルを添付し散逸を防止した。合祀神社である秋原神社の社殿は、6月6日頃解体。
本 指 定	八幡のまち並み	津波によりほとんどが浸水。	新たな被害なし。	
	陸奥船社宮（市川）	外見上被災なし。	建物に一部損傷。	
	多賀神社（市川）	南側の石灯籠が倒壊。	南側石燈籠倒壊（3月11日の地震で倒れなかった部分）。神社建物が南側に傾いているのを確認。	
	貴船神社（市川）	未確認。	庚申塔が倒伏。	
	荒脛巾神社（市川）	未確認。	境内の燈籠上部がすべて落下。	
	貞山運河	護岸が津波により破壊されている。	新たな被害なし。	護岸が全体的に陥没・沈下しており、大潮の満潮時には冠水する。
	塙電街道	街道路沿いのブロック塀が倒壊土壌等の壁が一部崩落。		
	海軍工廠建物（王子チヨダコンテナー内）	津波により浸水。建物の一部が損傷し、大量の瓦礫流入。	未確認。	事業所の再建により、建物解体。
	海軍工廠建物（陸上自衛隊多賀城駐屯地内）	未確認。	未確認。	自衛隊多賀城駐屯地から、建物が被災しているとの情報を得、5月に現地確認。ほんどの建物が地震による被害を受けしており、危険なため、立ち入り禁止となっている。

(2) 文化財被害状況写真



館前遺跡



多賀城跡作貢地区西門



八幡神社鳥居



倒壊した萩原神社



荒脛巾神社



沖の井



貞山運河



八幡居家前碑群

2. 被災した文化財への対応

(1) 活動記録

期 日	内 容
3月11日	地震発生。
3月18日	特別史跡内の被害状況調査を県多賀城跡調査研究所に依頼する。船前遺跡の東斜面に亀裂を確認し、シートで被覆する。
3月29日	災害対策本部会議において、瓦礫処理の途中で古文書等が発見された際には、文化財課へ連絡されるよう依頼する。
3月30日	多賀城跡被害状況確認。作貢置屋・西側に損傷、東門・南門トイレ浄化槽に亀裂。
4月1日～	市内文化財被害状況確認。
4月6日	八幡神社周辺の供養碑に注意を促す札を付ける。
4月7日	特別史跡内等被害状況確認。
4月8日～13日	4月7日の余震にかかる被害状況確認。
4月14日	多賀城軍工廠機銃部機銃発射場建物（以下「機銃発射場建物」と言う。）の被害状況確認。
4月27日・28日	八幡地区の倉の被害状況及び聞き取り調査。 南宮地区の板倉について、解体されるとの情報を得る。
5月2日	災害ボランティアの協力で、沖の井の清掃を行う。
5月6日	南宮地区の石倉解体に伴い、資料の寄贈を受ける。
5月10日	機銃発射場建物の存続の有無について、所有者に意向確認。解体の方向で進むことを示唆される。 八幡地区の旧家で水損文書発見。
5月12日	埋蔵文化財調査センターへ水損文書搬入、応急措置開始。
5月13日	被災文化財レスキュー活動に対する協力要請（市長から県外4市町の首長へ）を行う。
5月17日	八幡地区的板倉が解体されるとの情報により、所有者に調査協力をお願いする。
5月18日	陸上自衛隊多賀城駐屯地内の多賀城軍工廠火工部建物（以下「火工部建物」と言う。）の被害状況確認。 被災文化財レスキュー活動実施に向けて打合せ。
5月20日	史遺館2階の展示室2に、被災文化財レスキュー活動の本部設置。
5月23日～6月29日	太宰府市・国吉寺・小田原市・三重県明和市の文化財担当職員の協力のもと、倉の存続にかかる意向聞き取り開始。対象地区を八幡・南宮・山主・市川とする。その後、対象地区を市内全域に拡大する。
5月27日～7月1日	調査協力ボランティア1名参加。
5月30日～	聞き取りと並行して、寄贈資料の調査カード作成、写真撮影等開始。
6月16日	山形芸術工科大学において、文書の処置方法等について指導を受ける。
6月23日	陸上自衛隊多賀城駐屯地内の火工部建物調査について、承諾を得る。
7月12日	東北工業大学高橋教授と園西大学永井名誉教授が倉の被災状況観察。
8月9日～12日	東北工業大学高橋教授及び同学生による、倉の実測調査。
9月6日～9日	
9月22日	機銃発射場建物について、解体することになったとの連絡。
10月6日・7日	宮城学院女子大学飯淵教授・大平教授による機銃発射場建物の視察。
10月13日	瓦礫置き場で石碑確認。
10月27日	機銃発射場建物について、所有者から調査協力の承諾を得る。
10月28日	瓦礫置き場の石碑を多賀城史遺館に移設。
11月2日	土木学会文化庁建造物担当者が貞山運河の被害状況を視察。
11月7日～14日	機銃発射場跡の発掘調査実施。
11月24日～26日	東北工業大学小山准教授はかによる機銃発射場建物の実測調査。
12月26日	鳥居及び機銃発射場壁材を、保全のため、市所有施設に搬入。

(2) 活動の様子



被災を受けた供養碑の調査（八幡神社境内）



災害ボランティアによる沖の井清掃後のように



水損文書発見



埋文センターでの応急処置



海軍工廠建物状況確認（陸上自衛隊多賀城駐屯地）



高橋・永井先生視察



館前道路の応急処置



瓦礫置き場から救出された石碑と手水鉢

3. 被災した倉の調査活動の目的と方法

この度の地震と津波による被害が甚だしい地区の倉を中心に、その実態と文化財資料の保全を目的にレスキュー活動を計画し、以下のような目的と方法により実施することとした。

○目的：平成 23 年（2011）3 月 11 日に発生した東日本大震災により地震・津波被害を受けた歴史資料等を救済するため、市内八幡地区、南宮地区、山王地区に所在している板倉、石倉、土蔵等の被災状況の調査及び文書等の歴史資料、民俗資料の保全を図る。

○体制：当市教育委員会文化財課職員と協力員で組織する。（3～4 班体制）

*協力員……県外の文化財担当（専門）職員

○期間：5 月 23 日（月）～6 月 18 日（土）までの 4 週間

○調査内容：下記事項に関する調査を行う。

（1）被災した板倉、石倉、土蔵の調査活動

（2）津波被害等を受けた文書、歴史資料等の保全活動

○レスキュー本部：多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館（愛称「多賀城史遊館」）

【多賀市の文化財レスキューに対する協力依頼について】

巨大地震と大津波により被災の甚だしい地域を対象として、文化財資料を救出するため、県外の市町村（被災地を除く）文化財担当職員の協力依頼を行った。

協力を依頼する市町村については、市長と相談の上決定し、直接依頼先の首長に電話で連絡をとった。その結果、各首長から快諾を頂いたことから、協力依頼文書を送付し詳細は担当課同士で協議することとした。

・派遣依頼した市町村：福岡県太宰府市、三重県明和町、神奈川県小田原市、東京都国分寺市

・派遣人数：1～2 名

・派遣期間：調査期間中の派遣日数については、各自治体の都合に任せること。

　基本的にには、1 週間単位とする。

・調査期間：5 月 23 日（月）～6 月 18 日（土）

・宿泊施設：市内のビジネスホテル（申し込みは、各自治体で直接）

・レスキュー本部：多賀城史遊館

・担当課：多賀城市教育委員会文化財課

4. 活動計画と体制について

（1）対象の設定と調査体制

本調査活動の対象としては、特に津波による被害が甚だしい八幡地区と地震により被災している南宮地区、山王地区としていたが、歴史的風致維持向上計画の「塩竈街道に見る歴史的風致」対象地域になっている市川地区も対象とした。

調査内容については、対象地域内にある板倉、石倉、土蔵の被災状況と津波、地震被害を受けた文書、

歴史資料等の把握・保全を中心に行うこととした。

調査体制については、当市教育委員会文化財課職員と協力員で以下のような編成を行って調査に当たることにした。

(2) 計画スケジュールと工程図

活動計画のスケジュールについては、以下のとおりである。

文化財レスキュー活動スケジュール表

班構成	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/1	
A班								
①	瀧川・乾 5/27							
②	5/24 高倉・城戸	5/30						
B班								
①	高倉・塙田・太田・中島	6/4						
②	瀧川・高橋（守）・宮田							
③		高倉・中島・宮田						
④		高倉・瀧川・高橋（守）・井上・宮田・小野本 (6/13 ~)						
⑤				高倉・瀧川・宮田・山村 (6/17 ~)	高橋 (6/23 ~)			
C班								
①	鈴木・武田・村松	鈴木・村松・相澤						
D班								

5. 活動の記録

この度の文化財レスキュー活動を行うに際し、前項で述べたとおり調査活動の対象区域は、地震・津波被害の甚だしい八幡地区の他3地区に限定して実施していたが、調査が進行するに伴って、特に板倉の構造や形態が特徴的な様相を持っていることが判明した。この際、市域全域を対象として拡大すべきであるとの意見が出され、話し合いの結果、対象を市内全域に変更した。

また、倉の調査内容に關しても、倉の存続に関する所有者の意向調査（解体の有無等）と倉に保管されている所蔵資料の把握に加え、倉の概略図も作成することとした。

このことは、より詳細な記録を作成することにより、今後の災害に対する資料保全と建造物の保存活用の資料として基本台帳作成につながるものと思慮される。

今回の活動の記録を以下に記しておきたい。

平成23年5月16日作成

被災文化財保全のための工程図

A 被災状況確認班 2班体制…1班2名（市職員+応援職員）

建物の解体の有無と内部資料の廃棄の有無の意向確認



B 調査・搬出班 1班体制…3~4名（市職員1~2名+応援職員2名）

片付けを手伝いながら資料を搬出



応急処置必要な場合

C 保存処理班 1班体制（市職員2名=文化財課+埋文）

基本は現場で資料確認→応急処理

応急処置後の処置についても協議

D 収蔵・整理・台帳作成班 1班体制

寄贈された資料の台帳化

※文書資料の取り扱い



(1) 調査日誌

- 5月 23日 倉についての聞き取り（八幡地区 15軒、うち不在 6軒）、
水損文書搬入（八幡地区 1軒） 調査員 3名
- 24日 倉についての聞き取り（八幡地区 11件、うち不在 4軒 南宮地区 4軒、山王地区 1軒）
調査員 5名
- 25日 倉についての聞き取り（南宮地区 15軒、うち不在 1軒、山王地区 3件、うち不在 1軒）
調査員 4名
- 26日 倉についての聞き取り（南宮地区 9軒 山王地区 8件、うち不在 1軒）調査員 4名
- 27日 倉についての聞き取り（市川地区 12軒）調査員 5名
- 30日 寄贈資料の写真撮影
- 28日 倉についての聞き取り（市川地区 9軒、うち不在 1軒）調査員 4名
- 31日 倉内部の資料整理、水損資料搬入（八幡地区 1軒）調査員 7名
- 6月 1日 倉についての聞き取り、倉内部の資料整理、水損資料搬入（八幡地区 1軒）調査員 7名
- 2日 所在資料の調査、寄贈資料搬入（八幡地区 1軒）
- 3日 倉についての聞き取り（八幡地区 8軒、うち不在 1軒）、所在資料の調査、寄贈資料搬入（八幡地区 1軒） 調査員 7名
- 4日 寄贈資料整理
- 6日 寄贈資料整理
- 7日 倉についての聞き取り（八幡地区 1軒、不在 南宮地区 5軒 山王地区 2軒）、寄贈資料
搬入（八幡地区 1軒） 調査員 3名
- 8日 寄贈資料の整理
- 9日 倉にかかる聞き取り（八幡地区 1軒）調査員 2名
寄贈資料の整理作業
- 10日 倉についての聞き取り、寄贈資料搬入（高崎地区 3軒 浮島地区 7軒、うち不在 1軒）
調査員 3名
- 11日 倉についての聞き取り（高崎地区 4軒 東田中地区 2軒）調査員 4名
- 13日 倉についての聞き取り（高崎地区 3軒 東田中地区 4軒 留ヶ谷地区 6軒）調査員 5名
- 14日 倉についての聞き取り（八幡地区 1軒 新田地区 4軒 高橋地区 5軒）調査員 4名
- 15日 倉についての聞き取り（八幡地区 2軒 新田地区 7軒、うち不在 1軒）、倉内部の資料整理、
寄贈資料搬入（八幡地区 1軒） 調査員 6名
- 16日 倉についての聞き取り（新田地区 5軒、うち不在 1軒 笠神地区 5軒）調査員 4名
寄贈資料の整理作業
- 17日 倉についての聞き取り（山王地区 1軒 新田地区 1軒 高橋地区 1軒、浮島地区 1軒、
下馬地区 1件 笠神地区 4軒）調査員 4名
寄贈資料の整理作業

- 18日 倉についての聞き取り（八幡地区1軒 下馬地区3軒 中央地区1軒）調査員3名
寄贈資料の整理作業
- 20日 倉についての聞き取り・概略図作成（八幡地区14軒、うち不在1軒、南宮地区3軒 山王地区1軒）調査員2名
寄贈資料の整理作業
- 21日 倉についての聞き取り・概略図作成（八幡地区5軒）調査員2名
寄贈資料の整理作業
- 22日 倉についての聞き取り・概略図作成（八幡地区2軒 南宮地区3軒）調査員2名
寄贈資料の整理作業
- 23日 倉についての聞き取り・概略図作成（南宮地区1軒 新田地区1軒）調査員3名
寄贈資料の整理作業
- 24日 倉カードデータ作成
- 27日 倉カードデータ作成
- 28日 倉についての聞き取り・概略図作成（中央地区1軒 山王地区2軒 市川地区2軒）
調査員2名
- 29日 倉カードデータ作成 寄贈資料の整理
- 30日 倉カードデータ作成 寄贈資料の整理
- 7月 1日 倉カードデータ作成 寄贈資料の整理
- 8月 5日 寄贈資料搬入（新田地区1軒）調査員2名
- 25日 寄贈資料搬入（八幡地区1軒）調査員2名
- 10月 12日 寄贈資料搬入（南宮地区1軒）調査員2名、補助員8名、職場体験学習中学生6名
- 13日 寄贈資料搬入（新田地区1軒）調査員2名
- 18日 水報資料搬入（八幡地区1軒）調査員2名
- 11月 17日 寄贈資料搬入（八幡地区1軒）調査員2名

（2）活動の記録



倉の聞き取り活動のようす



倉の調査のようす



倉の整理作業



倉の整理作業



倉収納の資料整理作業



倉から出された資料の整理作業



水損した文書



水損した文書

6. 調査成果

(1) 倉カードの作成

倉に関する意向調査を行うに当たり、「倉に関する調査カード」を作成して聞き取り調査を実施した。当初、調査対象とした地区的倉件数は、事前の調査により 91 棟の所在が明らかになっていたが、A 班による状況確認調査の結果、6 月 2 日時点で 114 棟の所在が明らかとなった。

さらに、この時点までの調査で、調査対象としていた 4 地区で既に解体又は解体予定されている倉が 11 棟あることが判明した。この後に調査対象を市内全域に変更して状況確認を行った結果、所在が明らかになった倉の総数は、189 棟を数える。これは、当初調査予定していた倉の数の 2 倍に及ぶものである。

倉調査台帳（一覧表）、地区別の倉集計表は、以下のとおりである。

倉カード

不作累

平成 23 年〇月〇日

文化財調査に関するお願い

現在多賀城市教育委員会では、先の震災により被災した文化財の状況把握を行っております。具体的には歴史的な建物である倉や、昔の生活道具、墨で書かれた書付などを対象としております。

本日調査に伺いましたが、お留守のようでしたので、日を改めまして再度お邪魔しないと思っております。

なお、ご在宅の時間などお教えいただければ、その時間にお伺いいたします。連絡先は下記のとおりです。

何卒御協力のほど、よろしくお願ひいたします。

平成23年〇月〇日

遺稿集

多賀城市教育委員会文化財課

担当: ○○、○○

電話：×××-×××-×××

(2) 倉調查台帳(一覽表)

【八號地圖】

所有者 番号	住 所	倉の 種類	年 代	倉解体 の有無	改築の 有無	移築の 有無	幅行 幅(m)	壁行 幅(m)	柱の幅 (cm)	柱間隔 (cm)	所蔵資料概要
1	八幡2丁目	石倉	昭和 35 年頃	する	無し	無し	4.22	3.3	—	—	自在鉤、1斗升、祝い 樽、漆桶、越前、お請
2	八幡3丁目	石倉	昭和初期	—	無し	無し	5.67	3.89	—	—	無し
3	*	石倉	昭和初期	—	無し	無し	3.4	2.52	—	—	無し
4	八幡3丁目	板倉	江戸時代後期	しない	—	有り	5.54	3.77	13.5	23	屏風2張(箱入り)
5	*	土蔵	—	しない	—	—	4.91	3.38	—	—	レコード 100 枚、手錠 と電気機、火のし、書 合子、扇子、巻き毛 1 本、 持続印 2 本
6	八幡3丁目	板倉	—	—	無し	無し	4.78	3.15	10~11	33~37	大刀、盾、文書袋、青 銅鏡
7	八幡2丁目	石倉	50 年以上	しない	—	—	6.23	4.61	—	—	お膳(20~30)食器、 家財道具、農具、味噌 瓶、手作り(金属製)
8	八幡2丁目	板倉	明治元年	しない	有り	—	4.09	3.78	12~14	31~33	—
9	*	土蔵	明治元年	しない	有り	—	4.09	3.39	—	—	—
10	八幡3丁目	石倉	昭和 27 ~ 28 半頃	しない	—	—	3.87	3.87	—	—	—
11	八幡3丁目	板倉	昭和 63 年	しない	—	有り	4.75	3.8	10	35~38	鍋、釜、桶
12	八幡3丁目	石倉	昭和 35 ~ 36 年	しない	無し	無し	5.92	4.1	—	—	お膳、漆器
13	八幡3丁目	板倉	昭和 35 年	する	有り	無し	4.78	2.96	12	33	—
14	八幡3丁目	石倉	昭和 37 年	しない	—	—	4.87	4.6	—	—	—

15	八幡3丁目	石倉	平成	—	—	—	3.86	4.78	—	—	上棟式の道具(昭和45年)。木製、既設ごが、木板、柱打ち、革収き、エスコ
16	八幡3丁目	石倉	—	—	—	—	5.9	4.1	—	—	
17	八幡3丁目	石倉	昭和20年代	しない	有り	無し	3.81	3.68	—	—	—
18	八幡2丁目	石倉	昭和27年	—	—	—	5.99	4.22	—	—	
19	八幡3丁目	板倉	—	する	有り	あり	3.76	5.12	11~13	47~56	—
20	八幡2丁目	石倉	大正	しない	—	—	6.6	4.23	—	—	—
21	八幡2丁目	板倉	大正	する	有り (丸柱 替え)	無し	3.3	4.6	15	32	
22	八幡2丁目	板倉	—	—	—	有り	5.33	3.71	11~12	74~78	—
23	八幡2丁目	石倉	昭和11年	しない	有り	無し	5.6	3.78	—	—	—
24	八幡2丁目	板倉	—	しない	有り	—	5.58	3.8	13~14	16~17	長持
25	八幡2丁目	板倉	100年以上	しない	17~18 年	有り	6.45	4.72	14~16	30~32	ハム、機縫り、相撲番付、苗がご、大工道具箱
26	八幡2丁目	石倉	—	する	有り (丸柱 替え)	無し	3.86	2.97	—	—	—
27	八幡2丁目	板倉	昭和11年4月	しない	—	—	3.73	2.84	9~10	51~52	木挽脚、純先、ベッコ のからざし、八幡神社流鏑馬の頭
28	八幡2丁目	板倉	大正7年頃	—	—	—	5.15	3.78	13	32	スズがく棒、味噌樽、 火鉢、御簾、お膳、お盆、 刀の道具(村から町へ なったとき)、棒秤
29	八幡3丁目	板倉		しない	有り (基礎、 屋根)	無し	5.58	3.76	12~13	23~25	組立箱、漆器箱、紋付 角盆入れ、角お盆、行李 李、升(五月、一月)、 小形長桶、文箱(大・ 小)、火鉢、火盆、火打、 黒漆油お椀、皿、組籠、 長持、引手出し
30	八幡3丁目	土蔵	—	する	無し	無し	5.15	4.07	—	—	火鉢、長持、長版
31	八幡3丁目	石倉	50年位?	しない	—	—	6.03	4.22	—	—	お膳(戦前のもの)
32	八幡3丁目	板倉	70年以上	する	—	—	4.66	3.16	11~12	18~20	長持1
33	八幡2丁目	板倉	江戸時代後期	しない	有り (屋根 瓦)	有り	4.67	3.78	13	32	赤漆塗りお椀、粉運び 火鉢(底き物、鏡 鏡)
34	八幡2丁目	板倉	昭和4年1月7日	しない	有り	—	3.75	3.29	11.5	28~35	長持1、妻3、船入り お膳、お椀、棒秤
35	八幡3丁目	板倉	明治	しない	有り	—	7.73	4.93	11~12	32~53	契約請問係資料1種 (中に道具の行事で使用 する道具が入っている)

南宮地区

所有者番号	住 所	倉の種類	年 代	倉解体の有無	改築の有無	移築の有無	行き幅(ｍ)	行き幅(ｍ)	柱の幅(ｃｍ)	柱間隔(ｃｍ)	所蔵資料概要
36	南宮字町	土蔵	明治	しない	無し	無し	5.7	3.38	—	—	かご、ざる、桶
37	*	板倉	明治	しない	無し	無し	5.63	3.76	13	17	屏風(1対、高さ約 1.8m、金箔屏風)
38	南宮字町	板倉	明治	—	有り	4.65	3.22	12~15	31~32	つるべ、滑車	
39	南宮字町	板倉	—	しない	有り	有り	5.62	3.79	13~15	16~18	—
40	南宮字町	板倉	—	しない	有り	有り	5.6	3.79	13	30~32	—
41	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	有り	5.6	3.46	改造	改造	—
42	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	—	5.6	3.46	13.5	16.5	—
43	南宮字町	板倉	明治末	しない	—	—	5.6	3.78	12	16.5~ 20	—
44	*	土蔵	明治	しない	有り	—	5.95	4.17	—	—	諸道具、お膳、ふとん
45	南宮字町	板倉	70年以上	しない	—	—	4.6	3.14	10	27	—
46	南宮字町	石倉	昭和40年代	しない	有り	無し	4.34	3.49	—	—	—
47	南宮字町	板倉	—	—	—	—	4.99	3.16	11~13	17~22	足踏み脱穀機1、長持2、 鉄瓶1、自転車(古い)

48	南宮字町	石倉	昭和 50 年以前に建てた	しない	有り	—	4.18	328	—	—	長持、蓄音機、米櫃、琴、火鉢
49	南宮字庚申	土蔵	昭和 63 年頃	しない	無し	無し	4.65	385	—	—	—
50	南宮字町	板倉	大正	しない	有り	有り	5.6	38	12~15	14~18	火鉢、冠婚葬祭、祝い樽、杯、長持
51	南宮字町	石倉	明治 26 年	する	有り	—	7.46	472	内庭 柱間 14~15	46	—
52	南宮字町	板倉	100 年以上	しない	有り (瓦葺 替え)	—	5.62	381	13~16	15~17	—
53	*	土蔵	—	しない	—	—	3.9	3	—	—	—
54	南宮字町	土蔵	—	しない	—	—	5.33	348	—	—	—
55	南宮字町	板倉	—	する	—	—	5.58	338	13	17	—
56	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	無し	5.23	381	12~14	11~14	乗馬用鞍、風車、一斗升、石臼
57	南宮字町	板倉	—	—	—	—	5.63	375	9~11	20.5~ 22	—
58	南宮字町	土蔵	明治 8 年	する	無し	無し	5.66	43	—	—	—
59	*	土蔵	江戸 (嘉永 5 年)	する	無し	無し	5.9	443	—	—	—
60	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	—	5.59	38	11~13	24~25	—
61	南宮字町	石倉	—	しない	—	—	4.78	388	—	—	—
62	南宮字町	石倉	昭和 30 年代	しない	有り	無し	7.88	333	—	—	—
63	南宮字町	板倉	昭和 23 年	しない	有り	—	5.58	382	12	18	米を量る升
64	南宮字町	板倉	—	しない	有り	無し	5.59	375	12~13	17~18	一斗升、お膳
65	南宮字町	板倉	100 年位	しない	—	—	5.58	382	17	33~38	ころがし枠、升
66	南宮字町	板倉	明治	しない	無し	無し	5.59	376	10.5	22.5	—
67	*	板倉	明治	しない	無し	無し	3.16	376	13	17	—
68	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	—	4.66	318	11.5~ 13.5	18~19	—
69	南宮字町	板倉	50 年以上	しない	有り	—	5.46	379	10~12	30	—
70	南宮字町	板倉	昭和 46 年	しない	—	有り	5.6	381	14~16	16	舟、かご
71	南宮字町	板倉	—	しない	有り	—	5.63	381	11~12	18~19	長持 2、お膳、おかげ
72	南宮字町	板倉	明治	しない	有り	無し	5.575	375	11~15	10~18	火鉢、伝扇み機、長持、冠婚葬祭用具一式、馬車のカジ棒
73	南宮字町	板倉	—	しない	有り	—	5.53	36	13	32	唐箕、肥樽
74	南宮字上南宮	板倉	昭和 32 年頃	しない	無し	無し	4.65	285	10~12	正前 18~19 その他の 35~36	箕

【山王地区】

所有者番号	住所	倉庫の種類	年代	倉庫体の有無	改築の有無	移築の有無	桟行き 規格 (m)	梁行き 規格 (m)	柱の幅 (cm)	柱間隔 (cm)	所蔵資料概要
75	山王字東町浦	板倉	江戸 (文久 4 年)	する	—	有り	5.59	389	15	15	—
76	山王字東谷地中	板倉	100 年位	しない	有り	—	5.61	38	11	34	わらで編んだおひつ入れ
77	山王字東谷地中	板倉	100 年位	しない	—	—	3.14	225	11	41	お膳、火鉢
78	山王字前田	板倉	明治	しない	有り	無し	6.5	465	13~15	17~18	お膳、冠婚葬祭一式
79	山王字中山王	板倉	明治 17 年	しない	有り	有り	4.95	35	11~14	29~34	箪かご、笊、一斗升、籠
80	山王字東町浦	板倉	昭和初期	しない	有り (元は櫛 皮葺き)	有り	5.62	379	12	33	ころがし枠、棟上げ式 の風車
81	山王字東町浦	板倉	—	しない	—	有り	3.74	283	10	37	—
82	山王字東町浦	板倉	昭和 5 年	しない	有り	—	5.85	486	12~14	35	穂粉を浸す樽
83	*	板倉	*	しない	—	—	3.75	285	10	36	—
84	山王字中山王	板倉	—	しない	—	—	5.75	38	12~14	28~29	—
85	山王字東町浦	板倉	明治	しない	有り	無し	5.15	38	13	30.5	—

86	山王字西町舗	板倉	100年以上	しない	有り	—	559	37	12	19	—
87	山王字中山王	板倉	大正	する	—	有り	458	331	12.5～14.5	18～20	一斗舟、唐箕
88	山王字千刈田	板倉	100年近い	しない	—	—	539	376	9～13	19	棒秤、臼、杵
89	山王字毛上	石倉	昭和34年	しない	—	—	524	385	—	—	—

【市川地区】

所有者番号	住 所	倉の種類	年 代	倉体の有無	改築の有無	移築の有無	横行き 高さ (cm)	梁行き 高さ (cm)	柱の幅 (cm)	柱間隔 (cm)	所蔵資料概要
90	市川字丸山	板倉	昭和 20年頃	しない	有り	無し	57	37	9	50～60	馬牛耕用すき
91	*	土蔵	明治	しない	—	—	498	423	—	—	茶桶箱2、ちきり1升、銅火鉢1、乗馬用鞍1、長持1、屏風複数
92	*	土蔵	明治	しない	有り	—	448	327	—	—	—
93	市川字城前	土蔵	明治	しない	有り	無し	678	497	—	—	味噌樽10、木製2、蒸かし器2、扇風機1、自在鉤1
94	*	板倉	明治	しない	有り	無し	559	377	12～14	17～18	タンス2、長持2、桶3
95	市川字五万崎	板倉	4代前位	しない	無し	無し	565	379	13	33	長持2
96	*	板倉	4代前位	しない	有り	無し	464	238	105	34	長持、お膳、生活道具多數
97	市川字坂下	板倉	江戸 (文久3年)	しない	有り	無し	4,685	317	12～14	25～32	—
98	市川字五万崎	石倉	昭和	しない	無し	有り	569	394	—	—	木挽頭、手斧
99	*	土蔵	明治頃	する	なし	なし	5.6	39	—	—	—
100	市川字五万崎	板倉	不明	不明	無し	有り	466	316	11	50	銅なべ、自在鉤、カーバイドを燃やすランプ、火盆、天秤杆、生活道具多數
101	市川字坂下	板倉	明治	しない	有り	無し	558	454	15～18	22	—
102	*	板倉	明治	しない	有り	無し	558	381	15～18	30	—
103	市川字奏社	板倉	—	不在の ため不明	—	—	5.6	395	11～15	18～20	—
104	*	板倉	—	不在の ため不明	—	—	4.67	333	12～13	33	—
105	市川字大畠	板倉	—	しない	有り	無し	5.6	425	12～14	31～33	—
106	*	土蔵	昭和	しない	有り	無し	7.78	445	—	—	—
107	市川字作貫	石倉	昭和 17年	する	有り	無し	552	42	—	—	足踏脱穀機、馬の荷輪、あぶみ、竹籠、方石通し
108	市川字奏社	板倉	—	不明	—	—	4.72	297	13	12～13	—
109	*	板倉	—	不明	—	—	3.75	298	11	12	—
110	市川字丸山	土蔵	大正 4年	する	—	—	4.9	4.12	—	—	—
111	*	板倉	昭和 23年	しない	—	—	3.77	3.15	10～12	20～30	生活道具、農業、文書
112	市川字伊保右	板倉	不明	不明	有り	有り	4.7	3.3	11～12	30～40	—
113	市川字五万崎	板倉	大正	しない	有り	有り	5.53	3.75	13～14	15～19	長持、組合
114	市川字大畠	板倉	不明	しない	無し	有り	5.8	4.7	14	19～20	竹行李、張り板、乗馬用鞍
115	市川字奏社	板倉	不明	する	—	—	5.13	3.33	12～13	32～34	臼臼、棒、箕
116	*	板倉	不明	不明	有り	無し	3.1	2.1	10～12	22～24 油壺39	乗馬用鞍
117	市川字坂下	板倉	—	しない	無し	無し	5.64	3.83	12	34	—
118	市川字立石	板倉	江戸 (天保6年)	する	—	有り	4.77	3.77	13～14	31～33	お膳、木櫃、荷札、唐箕
119	市川字城前	板倉	江戸	しない	有り	無し	5.58	3.77	11～14	32～33	火鉢、水瓶、鉄びん、升、茶釜、臼2
120	市川字五万崎	板倉	明治 22年	しない	有り	無し	6.5	4.71	16	29～30	桶
121	*	土蔵	明治元年?	しない	有り	無し	4.85	3.32	—	—	味噌樽多數

【浮島地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	食解体の有無	改築の有無	移築の有無	横行き規格(m)	奥行き規格(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
122	浮島字沢前	板倉	50年以上	しない	—	—	3.32	2.41	12	11~18	—
123	浮島字西沢	板倉	不明	しない	有り	無し	4.8	3.1	11~13	13.5~26	唐箕、せいろ、甕、牛乳缶
124	浮島2丁目	板倉	大正	しない	有り	有り	5.86	3.09	10.5	35~41	—
125	浮島字後山	板倉	明治	しない	有り	—	5.65	3.78	12~14	22~24	—
126	浮島2丁目	石倉	昭和46年	する	無し	無し	5.2	4.28	—	—	—
127	浮島字西沢	板倉	—	しない	—	—	5.6	3.79	14~15	13.5~18	—
128	浮島2丁目	板倉	明治	しない	有り (屋根、基礎)	無し	5.65	2.85	12	33.5~35.5	—

【高崎地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	食解体の有無	改築の有無	移築の有無	横行き規格(m)	奥行き規格(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
129	高崎1丁目	板倉	不明	しない	有り	無し	5.58	3.74	10~13	33~35	—
130	高崎2丁目	板倉	明治~大正	しない	無し	無し	6.23	3.79	13~14	21~23.5	—
131	*	土蔵	明治	しない	無し	無し	5.83	3.79	—	—	長持、冠婚葬祭用具、屏風、古動機
132	*	土蔵	不明	しない	—	—	3.86	3.34	—	—	甕、水車(大・小)、行李、火鉢、石臼、腰舟、鉄軸、送風機
133	高崎1丁目	板倉	昭和48年	しない	無し	無し	5.54	3.78	13.5~16	14~18	—
134	*	板倉	明治以前	しない	有り	有り	5.6	3.8	13~16	14~17	—
135	高崎1丁目	板倉	大正14年	しない	有り	無し	5.63	4.69	11~15	32.5~34.5	長持、自在钩、仙台箪笥、箱箪、脚踏脱靴機
136	高崎1丁目	板倉	不明	しない	無し	無し	5.62	3.78	13~15	21~24	—
137	高崎2丁目	板倉	明治元年	しない	有り	—	5.65	3.87	15	15.5~17	お膳、什器箱(「高須賀屋菊藏」の墨書きあり)、豆を煮た釜、赤巻き機、長持
138	高崎2丁目	板倉	明治	しない	有り	無し	5.41	3.71	14	16.5~20	箕、飯盒、長持、浅瀬桶、張り板、草席、般納屋に戸板と屏風
139	高崎2丁目	板倉	明治	する	有り	有り	4.3	3.05	10~11	23.5~29	—
140	高崎2丁目	板倉	100年以上	しない	有り	無し	5.52	3.68	14	20~21	—
141	高崎2丁目	板倉	100年位	しない	有り	無し	5.38	3.76	12~15	17.5~19	お膳、木のお弁当箱(田舎ばで使う)

【高崎地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	食解体の有無	改築の有無	移築の有無	横行き規格(m)	奥行き規格(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
142	高崎5丁目	板倉	明治25年	しない	有り	有り	5.62	3.8	13~14.5	31.5~33	長持、率付き長持1、機織り機1、農具一式
143	*	板倉	明治9年 子年旧3月3日	しない	有り	有り、自宅西から移築	4.73	3.9	12~13	32.5~33.5	味噌樽
144	高崎1丁目	板倉	明治初め	しない	—	有り	5.6	3.8	12	35	江戸~明治教科書類
145	高崎2丁目	石倉	昭和36~37	しない	有り	無し	4.9	3.92	—	—	—
146	高崎1丁目	板倉	明治32年	しない	有り	—	5.6	3.78	14	30.5~32.5	—
147	高崎2丁目	石倉	昭和37~38	しない	有り	無し	5.98	4.2	—	—	—
148	高崎2丁目	石倉	不明	しない	有り	無し	5.69	3.89	—	—	—

【新田地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	食解体の有無	改装の有無	移設の有無	横行き規模(m)	縦行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
149	新田字六歳	板倉	昭和23年	しない	有り	—	5.61	3.79	11~15	20.5~25	—
150	新田字北開合	板倉	明治25年	する	有り	有り	5.62	3.81	13~14.5	31~34	長持、自在鉤、カゴ、火鉢、棒、唐箕
151	新田字北開合	板倉	不明	しない	有り	無し	4.7	3.3	13.5~16	23.5~33	秤(棒)
152	*	土蔵	不明	する	—	—	6.66	4.4	—	—	乗馬用鞍、案、盆利、茶器、火鉢、棒、糸巻き機2、糸巻き機
153	*	石倉	不明	しない	無し	無し	9.5	4.04	—	—	昭和27年の嫁入り東月(火鉢)2、長持1、漆器杯、漆器碗、漆器お膳
154	新田字南開合	板倉	江戸(弘化4年以前)	しない	有り	有り	5.83	3.81	12~13.5	32~50	—
155	新田字北開合	板倉	明治14年	しない	有り	無し	5.47	4.03	13~14	22.5~26	—
156	新田字南安楽寺	板倉	江戸	しない	有り	無し	5.59	3.3	13	32	—
157	新田字西後	板倉	昭和32~33年	しない	無し	無し	4.68	3.16	11.5~13	25~26.5	一斗升
158	新田字南安楽寺	板倉	昭和	しない	有り	無し	4.67	3.8	11~12	35	—
159	新田字六歳	板倉	昭和	しない	無し	有り	6.52	4.7	11~15	23~27	—
160	新田字西後	板倉	昭和	しない	有り	—	3.74	3.12	11	18.5~19.5	一斗升
161	新田字北安楽寺	板倉	明治3年	しない	有り	有り	3.8	2.88	13~15.5	9	一斗升、五斗升、秤
162	新田字南安楽寺	板倉	昭和	しない	無し	無し	3.75	2.32	10~11	33.5~41	—
163	新田字袋	板倉	江戸	しない	—	有り	5.63	3.8	15~17	31	唐箕1、一斗升1、長持1
164	新田字熊ノ田	板倉	昭和26年	しない	無し	無し	5.62	3.8	14	20~24	一斗升1、通匙利1(酒または油)、折衷猪苗代用網
165	新田字北開合	板倉	明治?	しない	有り	有り	4.68	3.16	10.5	35	—
166	新田字開合	板倉	—	しない	—	有り	4.98	3.45	16.5	32	一斗缶1、竹箕1

【留ヶ谷地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	食解体の有無	改装の有無	移設の有無	横行き規模(m)	縦行き規模(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
167	留ヶ谷1丁目	板倉	大正5年	しない	有り	有り	5.59	4.13	11~11.5	18.5~21.5	乗馬用鞍、火鉢(小)、小火鉢、火鉢具、唐箕、棒、長持、自在鉤、單筒、衝立、屏風(6曲表裏張り)、文箱、すりすり(白円形、黒墨書き)、木桶2、火鉢、盆、小机
168	留ヶ谷1丁目	板倉	明治40年	しない	無し	無し	5.59	3.8	13~14	32~32.5	長持(車付持)1、長持1、一斗升1、お膳20、秤
169	留ヶ谷2丁目	板倉	明治	しない	有り	有り	5.6	3.8	12~14	31~33.5	—
170	*	板倉	不明	しない	有り	—	5.625	3.78	10~11	20~20.5	—
171	留ヶ谷2丁目	板倉	明治	しない	有り	有り	4.86	3.18	12~13.5	36~39.5	クラ(重箱用)、大桟、三つ折、青革用脚、ちょこちゃん、白銀火鉢、火鉢具シロぶち、長持、十面こしき、棒、トランク、お茶入り道具
172	留ヶ谷2丁目	板倉	—	しない	有り	有り	4.68	3.14	8~10	26.5~30.5	ウナギド、ドウジョウド、滑卓、ウミ
173	留ヶ谷1丁目	石倉									

【下馬・伝上山地区】

番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改装の有無	移築の有無	横行き規格(m)	奥行き規格(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
174	下馬5丁目	土蔵	不明	しない	有り	—	6.55	3.86	—	—	—
175	下馬3丁目	板倉	明治	しない	有り	無し	6.5	3.8	13~14	16	手前こき、作(大・小)、三又脚、長持2、赤巻き、差槌、天井ばかり、お茶作り道具
176	下馬4丁目	板倉	不明	しない	—	無し	6.46	4.66	12~13	19~23	屏風(下張りあり)、お膳、お桶、兎がま、長持2、單扇、瓦
177	伝上山3丁目	板倉	不明	しない	有り	無し	8.19	3.77	11~12	18~19	唐箕、お茶用具、送風機、味噌釜、じゃばら

【笠神地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改装の有無	移築の有無	横行き規格(m)	奥行き規格(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
178	笠神1丁目	板倉	明治元年	しない	有り	有り	5.06	2.87	13	26~38	—
179	笠神1丁目	板倉	昭和17年	しない	有り	有り	4.8	3.45	13.5	20.5~22	—
180	~	土蔵	不明	しない	有り	無し	5.05	4.08	—	—	お膳、長持、漆器類
181	笠神1丁目	土蔵	昭和18年	しない	有り	無し	5.46	4.89	—	—	—
182	笠神1丁目	板倉	昭和17年	しない	有り	無し	5.6	3.76	14	18	長持
183	笠神1丁目	板倉	大正	しない	—	有り	5.59	3.76	12	24.5	—

【東田中・中央地区】

所有者番号	住所	倉の種類	年代	倉解体の有無	改装の有無	移築の有無	横行き規格(m)	奥行き規格(m)	柱の幅(cm)	柱間隔(cm)	所蔵資料概要
184	東田中1丁目	板倉	昭和26~27 平成頃	しない	無し	無し	5.35	3.79	12	17~21	—
185	東田中1丁目	板倉	不明	しない	無し	無し	5.58	3.77	12	18~20	臼(倉の前)
186	東田中2丁目	土蔵	100年超えて いる	しない	有り	—	6.38	3.9	—	—	長持、ころがし棒、迷風櫓
187	東田中2丁目	板倉	江戸(弘化2年)	しない	有り	—	5.79	3.85	12	33~77	單扇、角棒、長持
188	東田中1丁目	石倉	昭和50年頃	しない	無し	無し	5.73	3.96	—	—	お膳、皿類
189	中央1丁目	板倉	不明	しない	有り	有り	6.41	4.75	13~15	22~25	長持、乗馬用鞍(日清戦争時のもの)、肥跡、籠、箕、平家物語(12巻)

倉調査集計表(地区別)

地区名	軒数	棟数	内 許			備 考
			板倉	土蔵	石倉	
八幡	32	35	17	3	15	複数倉3軒
南宮	32	39	27	7	5	~ 7軒
山王	12	15	14	0	1	~ 3軒
市川	20	32	23	7	2	~ 11軒(うち1軒が3棟)
浮島	7	7	6	0	1	
高崎	10	13	11	2	0	~ 2軒(うち1軒が3棟)
高橋	6	7	4	0	3	~ 1軒
新田	16	18	16	1	1	~ 1軒(3棟)
留ヶ谷	6	7	6	0	1	~ 1軒
下馬	4	4	3	1	0	伝上山地区を含む
笠神	5	6	4	2	0	複数倉1軒
東田中	6	6	4	1	1	中央地区を含む
合計	156	189	135	24	30	

解体された倉の写真



板倉（新田）



土蔵（新田）



石倉（市川）



土蔵（南宮）

（3）倉の実測図作成調査

震災によってやむなく解体又は解体予定されている倉は、20棟に及ぶことが明らかとなった。その内訳は板倉9棟、石倉5棟、土蔵6棟であるが、聞き取り調査時点で解体するかどうか方針が決まっていないお宅もあることから、これ以外にも解体される倉が生じる可能性もあり、解体される倉について実測図を作成することとした。

実測図作成調査は、東北工業大学工学部の高橋恒夫教授にお願いし、第1次調査と第2次調査に分けて実施した。以下にその内容を簡単に記録しておきたい。

一調査内容—

・調査期間：(第1次調査) 平成23年8月9日(火)～12日(金)

(第2次調査) 平成23年9月6日(火)～9日(金)

・調査者：高橋恒夫(東北工業大学工学部教授)

同大学院生・学生

渡辺亮、日野裕基、農田瑞美、高橋佐保里、大友千尋、橋本千秋、後藤友希、新林慎平、

岡根怜志、東海林洪介、佐々木朔多

・調査立会：高倉敏明(市文化財課)

・調査内容：平面図、断面図、立面図、配置図の作成

・調査対象の倉：一覧表のとおり

実測図作成作業



板倉



土倉



土倉



板倉

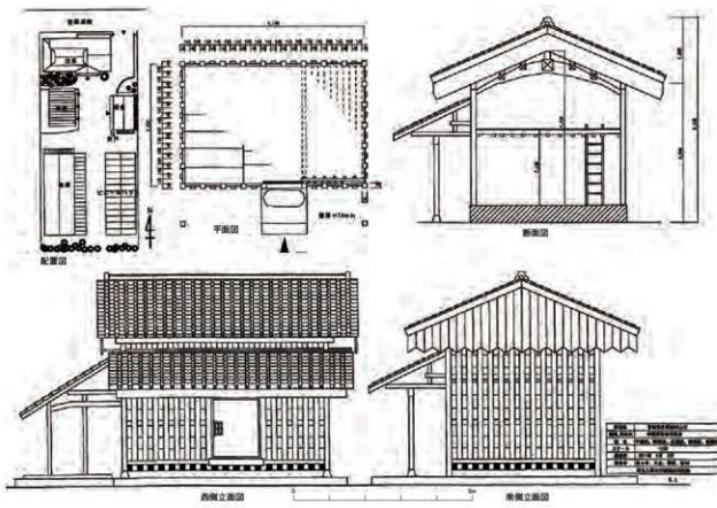
実測図を作成した倉一覧

(調査期間 第1次：8月9～12日 第2次：9月6～9日)

調査番号	所有者番号	地 区	種 別	時代 (年代)	備 考
1 - 1	30	八幡	土倉		津波被害 (解体)
1 - 2	32	八幡	板倉		津波被害 (解体)
1 - 3	6	八幡	板倉		津波被害
1 - 4	22	八幡	板倉		「恩賜郡食」
1 - 5	18	八幡	石倉		
1 - 6	26	八幡	石倉	昭和35年 (登記簿)	津波被害 (解体)
1 - 7	75	山王	板倉	江戸 (文久4年)	(解体予定)
1 - 8	87	山王	板倉	大正	(解体) 「大正七年 十三俵」の墨書きあり
1 - 9	55	南宮	板倉		
2 - 1	107	市川	石倉	昭和17年	棟札あり (解体終了)
2 - 2	118	市川	板倉	江戸 (天保6年)	墨書きあり (解体)
2 - 3	97	市川	板倉	江戸 (文久3年)	墨書きあり
2 - 4	92	市川	土倉		(修理)
2 - 5	115	市川	板倉		(解体)
2 - 6	120	市川	板倉	明治22年	墨書きあり

2-7	126	浮島	石倉	昭和 46 年	(解体)
2-8	37	南宮	板倉	(明治)	
2-9	36	南宮	土蔵	(明治)	(修理)
2-10	58	南宮	土蔵	明治 8 年	記録あり(解体)
2-11	59	南宮	土蔵	江戸(嘉永 5 年)	記録あり(解体)
2-12	152	新田	土蔵		(解体)
2-13	150	新田	板倉	明治 25 年	課税台帳
2-14	154	新田	板倉	江戸(弘化 4 年)	墨書きあり
2-15	143	高橋	板倉	明治 9 年	墨書きあり
合計	24 棟			(内訳) 板倉: 14 棟、石倉: 4 棟、土蔵: 6 棟	

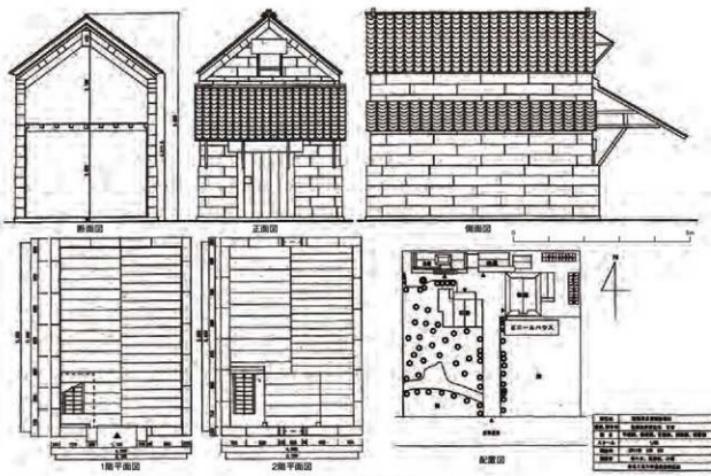
*実測図(参考図)



第 2 図 板倉実測図



第3図 板倉実測図



第4図 石倉実測図

(4) 資料カードの作成

このたびの東日本大震災に伴ってレスキューの対象とした資料の大部分は、倉から搬出したものである。資料数は少ないが、母屋・納屋などからのものもある。

現地での資料調査は、原則として次のような手順で実施した。まず蔵等からすべての資料を外に運び出し、資料の被災の状況を確認した。つぎにはこりや泥の除去、水分を含んでいる資料の水分の除去などの可能な応急処置を施すとともに記録写真や簡易のメモを作成した。そして所有者との協議を行いながら所有者が手元に置く資料と寄贈する資料とに仕分けを行い、寄贈資料については多賀城市埋蔵文化財調査センター体験館（愛称：多賀城史遊館）に搬入した。

搬入した資料は可能な限り汚れ等を取り除きつつ本来の姿に復元し、仮登録カードと仮資料カードの作成及び写真撮影を行い、分類しながら多賀城史遊館内の収蔵庫内に収納した。ふすまや額などで保存状態の良くない資料については、下張りまで剥がし、枠とふすま紙・書画、下張りに分けて保存した。

その後、正式な資料登録カード（第5図）と資料カード（第6図）及び寄贈資料一覧表を作成し、プリントアウトして登録カードと資料一覧表は台帳に保存し、資料カードは当該資料に添付した。さらにはそれらのデータは、ハードディスクにデジタル保存するとともにバックアップとしてCD-ROMにも保存した。登録に当たっては、所有者の姓と番号を組み合わせ、姓が同じ場合は名の最初の文字を加えた（例：A (a) 001）。資料同士で関連するものについては同一番号とし、ハイフン番号を付した（例：ふすまの場合・・・ふすま紙 (B 001-1)、枠 (B 001-2)、下張り文書 (B 001-3)）。また、資料の分類に当たっては、多賀城市埋蔵文化財調査センターで用いている宮城馨太郎編「民俗資料調査整理の実務」を参照とした民俗資料の分類基準に従った。なお、個人名が容易に特定できる情報は、本報告書上では削除している。

レスキューした資料は、14名の所有者から3,489点に及び登録数は844である。登録数と資料数が一致しないのは、たとえば書籍の「読史餘論」12巻の場合には登録数を1とし、資料数を12としたためである。資料を分類コード別に整理したのが第7図である。最も多かったのは大分類11その他である。資料数が2,575点で、全資料の73.8%を占める。次いで大分類1衣・食・住で、大分類2生産・生業、大分類9人の一生（通過儀礼）が続く。衣・食・住は資料数が580点で、全資料の16.6%を占める。生産・生業は115点で全資料の3.3%、人の一生が112点で3.2%を占めている。このほかには、資料数は少ないが、大分類3交通・運輸・通信、大分類4交易、大分類5社会生活、大分類6信仰、大分類7民俗知識、大分類8民俗芸能・娛樂・遊戲等があった。しかし、今回のレスキューでは、大分類10年中行事資料は皆無であった。

次に資料数の多かった大分類11・1・2・9について、小分類に視点を当てて資料内容をみると以下のようにになっている。最も多かった大分類11その他をみると、(J) 古文書・記録・文書・日誌類と(G) 書籍・雑誌・新聞類が圧倒的に多く、(C) 封書・絵葉書類、(A) 写真・写真帳が続く。大分類1では、食関係の(I) 飲食器が最も多く、衣関係の(D) 戰時間係資料、住関係の(D) 家具・調度が続く。大分類2では、染・職関係の(C) がほとんどを占め、大分類9では、通過儀礼関係の(F) 婚礼用具がほとんどを占める。

ふすまや額などの下張りとして使用されていた文書類が數種類あった。そのうち、版本で印刷された軍記物に関しては、多賀城市埋蔵文化財調査センターボランティア（略称：埋文ボランティア）の協力

を得て解説を行った。その他の筆書きによる文書については、宮城学院女子大学J.F.モリス教授の指導を受けつつ解説を実施している。

文化財レスキュー資料		登録番号	K 001-1
資料名	ふすま(紙)	資料数	1
分類	大 I 中 (3) 小 (D) 家具・調度		
寄贈者名	K	収蔵年月日	2011/05/31
特記事項	下黏りあり。K 001-3~19 で登録。	使用年代	不明

第6図 資料カード

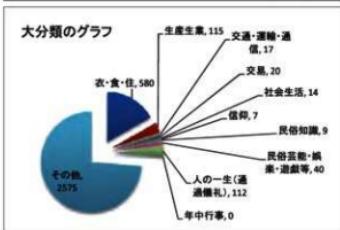
文化財レスキュー資料		K 001-1	
登録番号	ふすま(紙)	資料数	1
分類	I	(D)	家具・調度
寄贈者名	K	収蔵年月日	2011/05/31
特記事項	下黏りあり。K 001-3~19 で登録。	使用年代	不明

第5図 資料登録カード

分類コード別一覧表

大分類	中分類	小分類	資料数	登録数
1 衣・食・住	(1) 衣	(A) 服物	23	3
		(B) 用具・道具	1	1
		(C) その他	84	27
	(2) 食	(D) 用具・道具	26	6
		(E) その他	5	2
		(F) 飲食・加工用具	15	1
	(3) 住	(G) 用具・道具	2	1
		(H) その他	46	23
		(I) その他	39	7
2 生産生業	(1) 農	(A) 作業・農業用具	1	1
		(B) 用具・道具	67	42
		(C) その他	1	1
		(D) 用具・道具	1	1
		(E) その他	5	5
	(2) 工	(F) 用具	580	185
		(G) 用具	1	1
		(H) その他	2	2
		(I) 用具	2	2
		(J) 用具	2	2
3 交通・運輸・通信	(1) 交通	(C) 乗・舟・飛行機	9	5
		(D) 交通・旅行用具	3	1
		(E) 通信・郵便用具	4	4
		(F) その他	1	1
	(2) 通信	(G) 用具	2	2
		(H) 用具	2	2
		(I) 用具	2	2
		(J) 用具	2	2
		(K) 用具	1	1
4 交易	(1) 商	(B) 商業用具	2	2
		(C) 用具	12	8
		(D) 用具	2	2
		(E) 用具	2	2
		(F) 用具	1	1
5 社会生活	(1) 交	(G) 用具	14	2
		(H) 用具	12	1
		(I) 用具	2	1
		(J) 用具	2	2
		(K) 用具	2	2
6 信仰	(1) 神	(C) 神社・法事用具	1	1
		(D) 用具	2	1
		(E) 用具	2	2
		(F) 用具	1	1
		(G) 用具	1	1
小計		(H) 用具	2	2
		(I) 用具	2	2
		(J) 用具	2	2
		(K) 用具	2	2
		(L) 用具	2	2

第7図 分類コード別一覧表



寄贈資料一覧表

No	登録番号	寄贈者名	分類			資料名	年代	資料数
			大	中	小			
1	001-1	A	1	(1) (D) 戰時関係	陸軍々服（上着）	昭和	1	
2	001-2		1	(1) (E) その他	軍服付属品	昭和	6	
3	002		3	(E) 通信施設・用具	電話機 (1)	不明	1	
4	003		3	(E) 通信施設・用具	電話機 (2)	不明	1	
5	004		3	(E) 通信施設・用具	電話機 (3)	不明	1	
6	005		3	(E) 通信施設・用具	柄鏡	不明	1	
7	006		1	(1) (A) 服物	ゴーダル（皮ケース付）	近世、現代	2	
8	007		1	(3) (G) 防護用具	水筒 (1)	不明	1	
9	008		1	(1) (D) 戰時関係	水筒 (2)	昭和 27 年	1	
10	009		8	(B) 衣装・道具類	皮ひも	不明	2	
11	010		3	(D) 交通・旅行用具	金具類	不明	3	
12	011		11	(1) 学校教育用品類	ぶんちゃん	不明	1	
13	012-1		8	(B) 衣装・道具類	藤製編かご	不明	1	
14	012-2		8	(B) 衣装・道具類	アイロン、アイロン台	不明	2	
15	013		11	(A) 写真・写真帳	肖像写真	不明	1	
16	014		8	(1) その他	蓄音機	不明	1	
						小計		26
17	001	B	1	(2) (G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1	
18	002		1	(2) (G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1	
19	003		1	(2) (G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1	
20	004		1	(2) (G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1	
21	005		1	(2) (G) 嗜好品用具	貧乏徳利	明治	1	
22	006		1	(2) (J) その他	拂帯用紺	不明	1	
23	007		2	(7) (B) 製糸用具	糸紡ぎ機	不明	1	
24	008		2	(7) (B) 製糸用具	糸紡ぎ機	不明	1	
25	009		2	(7) (B) 製糸用具	糸紡ぎ機	不明	1	
26	010		2	(7) (C) 機織り用具	チマキ	不明	1	
27	011		2	(7) (C) 機織り用具	機織り用具の一部	不明	1	
28	012		2	(7) (C) 機織り用具	杼（機織り用具）	不明	4	
29	013		2	(7) (C) 機織り用具	糸巻つけ棒	不明	34	
30	014		2	(7) (C) 機織り用具	機織りの用具	不明	3	
31	015		2	(7) (F) 製品	糸	不明	6	
32	016		2	(7) (H) その他	筆	不明	1	
33	017		2	(7) (H) その他	用具箱	不明	1	
34	018		4	(G) その他	一銭	不明	1	
35	019		2	(7) (C) 機織り用具	機織り用具部材	不明	25	
36	020		2	(7) (C) 機織り用具	機織り用具（巻いた糸）	不明	5	
37	021		2	(7) (C) 機織り用具	機織り用具の部材か	不明	3	
38	022		2	(7) (C) 機織り用具	袋	不明	1	
39	023		2	(7) (C) 機織り用具	糸巻	不明	12	
40	024		1	(2) (D) 調理・調整具	芋すり機	不明	1	
41	025		1	(3) (H) その他	自在鉤	不明	1	

42		026		2	(7)	(C) 機織り用具	機織り用具 (用途不明品)	不明	1
43		027		11		(B) 地図・図面類	地図地	明治	1
44	B	028		11		(B) 地図・図面類	地図地	明治	1
45		029		11		(B) 地図・図面類	地図地	明治	1
46		030		11		(B) 地図・図面類	地図地	明治	1
						小計		114	
47		001-1		3		(C) 車・舟・そり類	馬車 (荷台)	昭和	1
48		001-2		3		(C) 車・舟・そり類	馬車 (ハンドル)	昭和	2
49		001-3		3		(C) 車・舟・そり類	馬車 (輪)	昭和	1
50		001-4		3		(C) 車・舟・そり類	馬車 (車輪)	昭和	4
51		001-5		3		(C) 車・舟・そり類	馬車 (金具類)	昭和	1
52		002-1		2	(1)	(E) その他	下肥樽 (ヨツタル)	昭和	3
53	C(c)	002-2		2	(1)	(E) その他	下肥樽の下敷	昭和	3
54		003		2	(6)	(A) 陶育用具	陶糞切り機	昭和	1
55		004		2	(1)	(E) その他	糞ない機	昭和	1
56		005		1	(2)	(D) 調理・調整具	鉄なべ	昭和	1
57		006		2	(2)	(G) その他	手斧	昭和	1
58		007		1	(3)	(D) 家具・調度	自在鉤	昭和	1
59		008		2	(1)	(E) その他	伝幅み機 腕部 (一対)	不明	2
						小計		22	
60		001		1	(1)	(D) 戦時間係	陣軍々服 (上着・ズボン)	不明	2
61		002		1	(1)	(D) 戦時間係	軍服 (上着)	不明	1
62		003		1	(3)	(D) 家具・調度	自在鉤 1 (松柄)	不明	1
63		004		1	(3)	(D) 家具・調度	自在鉤 2 (鉢づち柄)	不明	1
64		005-1		9		(F) 婚礼用具	物入れ (婚礼用具)	明治 30 年	1
65		005-2		9		(F) 婚礼用具	婚礼用具	明治 30 年	12
66		006		1	(2)	(1) 飲食器	会席膳 十人前 1	明治 30 年	11
67	D(d)	007		1	(2)	(1) 飲食器	会席膳 十人前 2	明治 30 年	11
68		008		1	(1)	(D) 戰時間係	出征祝禮1 祝應召佐藤肇君	不明	1
69		009		1	(1)	(D) 戰時間係	出征祝禮2 祝應召佐藤肇君	不明	1
70		010		6		(E) 奉納・祈願品類	奉獻南宮神社廣成 (鐵) 1	大正 13 年	1
71		011		6		(E) 奉納・祈願品類	奉獻南宮神社廣成 (鐵) 2	大正 13 年	1
72		012		6		(1) その他	白布	不明	1
73		013		1	(2)	(1) 飲食器	お楓	不明	1
74		014		2	(1)	(C) 収穫・調整用具	もみ運び機 (器) 1	不明	1
75		015		2	(1)	(C) 収穫・調整用具	もみ運び機 (器) 2	不明	1
						小計		48	
76	E(e)	001		11		(J) 文書・日誌類	古文書類	明治頃か	13
77		002		1	(3)	(D) 家具・調度	袖と下梁	明治 39 年	4
78		003		11		(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞	明治 38 年	10
						小計		27	
79	F	001-1		4		(C) 計算・計量具	棒ハカリ	不明	1
80		001-2		4		(C) 計算・計量具	棒ハカリ用分銅	不明	1
81		001-3		4		(C) 計算・計量具	棒ハカリ用かぎ棒	不明	1
						小計		3	

82	001		11	(J) 文書・日誌類	『作子証』	明治 18 年	1
83	002		11	(J) 文書・日誌類	「士官候補生採用願」	明治 6 年	1
84	003		11	(J) 文書・日誌類	『隣地小作證』	不明	1
85	004		11	(J) 文書・日誌類	『諸届願等一括』	明治 2	
86	005		11	(J) 文書・日誌類	『設計書』等	不明	3
87	006		11	(J) 文書・日誌類	『借入証』	昭和 9 年	1
88	007		11	(J) 文書・日誌類	作文「若菜の頃」	昭和 1	
89	008		11	(J) 文書・日誌類	『屋敷図面八畝半上屋敷』	不明	1
90	009		11	(J) 文書・日誌類	『海軍施設買収調印通知』	不明	1
91	010		11	(J) 文書・日誌類	『病氣ニ付辞職願』	昭和 26 年	1
92	011		11	(J) 文書・日誌類	『四月より五月迄二ヶ月分』	不明	1
93	012		11	(J) 文書・日誌類	『第六号御賛問之条』	不明	1
94	013		11	(J) 文書・日誌類	『開墾御届』	明治 27 年	1
95	014		11	(J) 文書・日誌類	『備荒儲蓄共借証』	明治 21 年 7 月	1
96	015		11	(J) 文書・日誌類	『青年会訓』	不明	1
97	016		11	(J) 文書・日誌類	『証・金式捨三円・』	明治 10 年	1
98	017		11	(J) 文書・日誌類	『新聞発坪数改』	明治 3 年	1
99	018		11	(J) 文書・日誌類	『証 塩釜村』	明治 10 年	1
100	019		11	(J) 文書・日誌類	『明治九年ヨリ十年迄人足取立分』	明治 9 年 10 月	1
101	020		11	(J) 文書・日誌類	『保元物語 序』	不明	1
102	021		11	(J) 文書・日誌類	『論説體抄』	明治 21 年	1
103	022		11	(J) 文書・日誌類	『須磨浦古後地』	明治	1
104	G(g)	023	11	(J) 文書・日誌類	『金子借用証(一括)』	明治 9 ~ 20 年	9
105	024		11	(J) 文書・日誌類	『移預り証』	明治 17 年	1
106	025		11	(J) 文書・日誌類	『前書之趣~』	明治 5 年	1
107	026		11	(J) 文書・日誌類	『隸蓄初借用証』	明治 20 年	1
108	027		11	(J) 文書・日誌類	『地所完買願書 諸取証』	明治 9 年	1
109	028		11	(J) 文書・日誌類	『隣地償証』	明治 9 年	1
110	029		11	(J) 文書・日誌類	『書面不都合候得共~』	明治 10 年	1
111	030		11	(J) 文書・日誌類	『田地書入金子借用証』	明治 15 年	1
112	031		11	(J) 文書・日誌類	『地所御証明願』	明治 23 年	1
113	032		11	(J) 文書・日誌類	『木門管修茶園』	明治 25 年	1
114	033		11	(J) 文書・日誌類	『隣地書入地券■■金子借証』	明治 10 年	1
115	034		11	(J) 文書・日誌類	『申出ノ券書換相渡候』	明治 12 年	1
116	035		11	(J) 文書・日誌類	【■調■】	不明	1
117	036		11	(J) 文書・日誌類	『(跡單紙)』	不明	1
118	037		11	(J) 文書・日誌類	『答案紙』	不明	13
119	038		11	(J) 文書・日誌類	『土地売買聞係文書』一括	明治、大正	1
120	039		11	(J) 文書・日誌類	『委任狀』	明治	3
121	040		11	(J) 文書・日誌類	『借用証』	明治 16 年	1
122	041		11	(J) 文書・日誌類	『養子長男被立下度願』	明治	1
123	042		11	(J) 文書・日誌類	『諸届證文』等一括	明治	1
124	043		11	(J) 文書・日誌類	『本組合ニ於テ衛呈~』	不明	1
125	044		11	(J) 文書・日誌類	『興論體抄』	明治	1
126	045		11	(J) 文書・日誌類	『文説體抄』	明治	1
127	046		11	(J) 文書・日誌類	『隣地永代~』	不明	1

128	047		11	(J) 文書・日誌類	「永代酒■呑之事」	明治	1
129	048		11	(J) 文書・日誌類	「無尽給付金」	昭和	1
130	049		11	(J) 文書・日誌類	「勝利会社創立金～」	不明	1
131	050		11	(J) 文書・日誌類	「地価金■五円八十九銭～」	不明	1
132	051		11	(J) 文書・日誌類	「借用証」等一括	明治、大正	1
133	052		11	(J) 文書・日誌類	「歴史人名覧」	不明	1
134	053		11	(J) 文書・日誌類	「家庭平面図」	不明	1
135	054		11	(I) 学校教育用品類	「全教科抄本」	不明	1
136	055		11	(I) 学校教育用品類	「初等科算数」	昭和 17 年	1
137	056		11	(I) 学校教育用品類	「物等科理科」	昭和 17 年	1
138	057		11	(I) 学校教育用品類	「ローマ字教科書」	昭和 28 年 12 月	1
139	058		11	(J) 文書・日誌類	「奉公定証証」	昭和 7 年	1
140	059		11	(J) 文書・日誌類	「第三号議案」	昭和 13 年	1
141	060		11	(J) 文書・日誌類	「農業雇入賃金協定表」	大正 13 年	1
142	061		11	(J) 文書・日誌類	「工事経過報告」	昭和 11 年 7 月	1
143	G(g)	G	11	(J) 文書・日誌類	「昭和十九年十月印食数覚」	昭和 19 年	1
144	062		11	(J) 文書・日誌類	「海軍省用地内用材払下」	昭和 18 年	1
145	063		11	(J) 文書・日誌類	「政衛会推薦候補者名入りナラン」	昭和	1
146	064		11	(J) 文書・日誌類	「家督相続届」	昭和 14 年 1 月	2
147	065		11	(J) 文書・日誌類	「設計書(加瀬溜井堤防構管～)」	昭和	5
148	066		11	(J) 文書・日誌類	「設計書(加瀬溜井用水～)」	昭和	1
149	067		11	(J) 文書・日誌類	「設計書(山王小学校便所)」	不明	1
150	068		11	(J) 文書・日誌類	「印鑑證明願」	昭和 11 年 1 月	2
151	069		11	(J) 文書・日誌類	「監査報告 堀曾青菴市場」	昭和 19 年 3 月	1
152	070		11	(J) 文書・日誌類	「混凝土壹立米当印代価表」他	不明	7
153	071		11	(J) 文書・日誌類	「株式払込督促」	昭和 19 年 5 月	2
154	072		11	(J) 文書・日誌類	「昭和八年八月改メ」	昭和 8 年 3 月	3
155	073		11	(J) 文書・日誌類	「東田中字山崎」	不明	1
156	074		11	(J) 文書・日誌類	「賞賜物件交付ノ件」	昭和 19 年 5 月	1
157	075		11	(J) 文書・日誌類	「御膳」	不明	10
	076		1 (2) (I) 飲食器				
				小計			125
158	001		1 (2) (C) 炊事用具	茶釜	不明	1	
159	002		1 (3) (D) 家具・調度	ごとく	不明	1	
160	003		1 (2) (C) 炊事用具	鉄びん	不明	1	
161	H(h)	H	4 (C) 計算・計量具	天秤ハカリ	不明	1	
162	004		4 (C) 計算・計量具	分鋼	不明	1	
163	005		4 (C) 計算・計量具	パリカン	不明	1	
164	006-1		1 (I) (B) 結髪・化粧道具	パリカン	不明	3	
165	006-2		1 (I) (B) 結髪・化粧道具	パリカン	不明	1	
	007		1 (3) (D) 家具・調度	仙台箪笥	不明	1	
			小計				10
166	I	I	1 (I) (B) 結髪・化粧道具	鏡台	不明	1	
167	001		8 (I) その他	杖 1 ~ 4	不明	4	
168	002		1 (I) (D) 戰時関係	サバベル鞘 1, 2	不明	2	
169	003		7 (G) 計算・計量具	ソロバン	不明	1	
170	004		11 (F) 拓本・墨書き	文字額 1 「德（カ賓）室」	不明	1	
	005-1						

171	005-2		11	(K) その他	額縁の枠	不明	1
172	005-3		11	(K) その他	為替拂渡帳用紙	不明	1
173	005-4		11	(J) 文書・日誌類	旅費開支文書	明治 41 年	18
174	005-5		11	(K) その他	プログラム	不明	2
175	005-6		11	(J) 文書・日誌類	天塙川調査測量人夫賃仕 払通知書	不明	5
176	005-7		11	(C) 封書・絵葉書類	手紙類断片	明治 41 年	37
177	006		11	(F) 拓本・墨書き	文字額 2 「鶴鳴日麗」	不明	1
178	007-1		11	(F) 拓本・墨書き	文字額 3 「? (5 文字)」	不明	1
179	007-2	I	1 (3)	(D) 家具・調度	額 3 のわく	不明	1
180	007-3		11	(J) 文書・日誌類	出勤簿	不明	1
181	007-4		3	(F) その他	郵第八号甲	大正	1
182	008		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	屏風 1	不明	1
183	009		1 (1)	(E) その他	手下げ袋 1、2	不明	2
184	010		7	(C) 薬品・医療・保健具	往診用カバン	不明	1
185	011		1 (1)	(E) その他	カバン 1	不明	1
186	012		1 (1)	(E) その他	カバン 2	不明	1
187	013		1 (1)	(E) その他	小物入れ	不明	1
188	014		1 (1)	(E) その他	物入れ 1	不明	15
189	015		1 (3)	(H) その他	踏み台	不明	1
190	016		11	(J) 文書・日誌類	手帳 1	不明	1
191	017		1 (3)	(D) 家具・調度	物入れ 2	不明	1
192	018		1 (3)	(D) 家具・調度	物入れ 3	不明	1
193	019	I	1 (3)	(D) 家具・調度	衣桁	不明	1
194	020-1		1 (3)	(D) 家具・調度	屏風 2	昭和 5 年	1
195	020-2		1 (3)	(D) 家具・調度	屏風 2 のわく	不明	2
196	020-3		11	(J) 文書・日誌類	輸出貨物之簿	大正か昭和 4 ~ 5 年	1
197	021		8	(H) 娯楽・遊戯・玩具	すごろく一式	不明	22
198	022		1 (1)	(D) 戰時間係	双眼鏡	不明	2
199	023		1 (2)	(I) 飲食器	青葉会盃	不明	2
200	024		8	(H) 娯楽・遊戯・玩具	将棋駒	不明	4
201	025		8	(H) 娯楽・遊戯・玩具	百人一首	不明	2
202	026		1 (2)	(C) 炊事用具	火運び	不明	1
203	027		1 (2)	(I) 飲食器	凱旋招魂記念盃	不明	3
204	028		1 (2)	(G) 嗜好品用具	煙草盆	不明	4
205	029		1 (3)	(D) 家具・調度	台 (折りたたみ脚付)	不明	1
206	030		1 (2)	(I) 飲食器	鉄瓶	不明	1
207	031		1 (3)	(H) その他	柳行李	不明	1
208	032		1 (2)	(I) 飲食器	日露戰争記念盃	不明	7
209	033		1 (2)	(C) 炊事用具	片口鍋	不明	1
210	034		11	(C) 封書・絵葉書類	スケッチブック集書	不明	1
211	035		1 (3)	(H) その他	白熱灯	不明	1
212	036		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「大礼記念帳」	不明	1
213	037		1 (2)	(I) 飲食器	御大典記念盃	不明	2
214	038		1 (1)	(D) 戰時間係	刀箱	不明	1
215	039		1 (1)	(D) 戰時間係	在郷軍人会員徽章	不明	3

216	040	1	(1) (D) 戦時間係	刀 2振	不明	14
217	041	1	(1) (D) 戦時間係	サーベル柄 他	不明	1
218	042	4	(F) 印章・絵符類	氏名印	不明	2
219	043	4	(G) その他	聖蹟保存会々員章	不明	2
220	044	1	(1) (A) 服物	軍服ボタン他	不明	15
221	045	1	(1) (D) 戰時間係	階級章	不明	13
222	046	1	(1) (A) 服物	軍帽・ハット他	不明	6
223	047	1	(2) (1) 飲食器	鉢類	不明	4
224	048	7	(C) 薬品・医療・保健具	乳鉢	不明	4
225	049	1	(2) (1) 飲食器	征露記念盆	不明	2
226	050	5	(G) その他	肩掛け	不明	2
227	051	1	(1) (D) 戰時間係	従軍記念弾丸	不明	4
228	052	1	(1) (D) 戰時間係	軍装金具	不明	4
229	053	1	(1) (D) 戰時間係	軍服装具	不明	3
230	054	1	(3) (D) 家具・調度	二重物入れ	不明	1
231	055	5	(F) 贈答・社交用具 (慶弔)	各種記章	明治 37 年・昭和 21 年	12
232	056	1	(1) (D) 戰時間係	軍帽飾	不明	1
233	057	1	(1) (D) 戰時間係	軍服	不明	1
234	058	1	(1) (D) 戰時間係	軍服飾	不明	2
235	059	1	(1) (D) 戰時間係	ホルスター	不明	11
236	060	1	(1) (D) 戰時間係	ゴーグル	不明	1
237	061	1	(1) (D) 戰時間係	軍帽	不明	1
238	I 062	1	(1) (D) 戰時間係	ベルト①②	不明	9
239	063	1	(1) (D) 戰時間係	吊金具	不明	1
240	064	1	(1) (D) 戰時間係	軍用バッグ	不明	1
241	065	1	(1) (D) 戰時間係	軍装入れ	不明	1
242	066	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『實業之日本』	昭和 5 年	1
243	067	11	(K) その他	『封筒御詔書』	不明	1
244	068	11	(D) 絵画・錦絵・版画類	『名所絵』	不明	1
245	069	11	(J) 文書・日誌類	『戦争関連書類』	昭和 24 年	3
246	070	11	(C) 封書・絵葉書類	『繪葉書各種』	明治 38 年～	30
247	071	11	(J) 文書・日誌類	『未開地壳払願他文書』	昭和 5 年～	9
248	072	11	(K) その他	『映画チラシ』	不明	1
249	073	11	(D) 絵画・錦絵・版画類	色紙、4 枚	不明	4
250	074	11	(F) 拓本・墨書	『今上天皇陛下御宸筆』	大正 3 年～	1
251	075	11	(F) 拓本・墨書	拓本 多賀城碑	不明	1
252	076	11	(K) その他	『記念募集優等名簿』	昭和 8 年～	1
253	077	11	(K) その他	『俱楽部員名簿』 2 通	昭和 3 年～	1
254	078	11	(C) 封書・絵葉書類	封筒 『河川調査二閑スル証憑書』	不明	1
255	079	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『厚真週報』	昭和 16 年～	1
256	080	11	(A) 写真・写真板	名画等写真一括	昭和 8 年～	19
257	081	11	(K) その他	『銀行簿記例題記入帳』	不明	1
258	082	11	(J) 文書・日誌類	手帳 明治 41 年	明治 41 年	1
259	083	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『陣地攻撃要領』	昭和 37 年～	1
260	084	11	(K) その他	出納帳	不明	1

261	085		11	(C) 封書・絵葉書類	「謹啓新春料餉之候~」	不明	1
262	086		11	(B) 地図・図面類	「最新支那詳密大地图」	昭和 12 年	1
263	087		11	(B) 地図・図面類	「最新亞地亞地圖」	昭和 12 年	1
264	088		11	(A) 写真・写真帳	「最新欧洲大地图」	昭和 11 年	1
265	089		11	(K) その他	抄撰文 3 通	不明	3
266	090		9	(G) 婚姻関係用具	弔詞・弔辞	昭和 19 年	2
267	091		11	(B) 地図・図面類	星數方角図	不明	1
268	092		11	(K) その他	『陣中時代~』句作一括	不明	8
269	093		11	(K) その他	多賀城村史跡書類一括	昭和 9 年~	10
270	094		11	(K) その他	「八戸市」	不明	1
271	095		11	(K) その他	「金華山参拝の某」	不明	1
272	096		11	(K) その他	『北海道移住手引書』	明治 42 年	1
273	097		11	(J) 文書・日誌類	手帳 7 冊	昭和 15 年	7
274	098		11	(J) 文書・日誌類	人名簿 2 冊	不明	20
275	099		11	(K) その他	『保険契約例表』	不明	1
276	100		11	(B) 地図・図面類	「二万分之一尺地図富谷・松島」	明治 22 年・ 明治 24 年	2
277	101		11	(B) 地図・図面類	「宮城県全図」	昭和 16 年	1
278	102		11	(F) 拓本・墨書き	「日徳翁内筆」他	不明	25
279	103	I	11	(J) 文書・日誌類	『思出の記』4 冊	昭和 35 年	4
280	104		11	(J) 文書・日誌類	『自叙伝』	昭和 35 年	1
281	105		11	(J) 文書・日誌類	『末松山蘿のひびき』	昭和 28 年	1
282	106		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『皇権』	昭和 19 年	1
283	107	I	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『敬闇』2 部	昭和 20 年	2
284	108		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『宮城翼賛手帳』	昭和 16 年	1
285	109		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『兵役に関する心得』	昭和 19 年	2
286	110		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『在郷軍人須知』	明治 45 年	1
287	111		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『在郷軍人心』	不明	1
288	112		11	(K) その他	封筒 「千代田火災海上」	不明	1
289	113		11	(I) 学校教育用品類	「雁のゆきかひ 下」	明治 40 年	1
290	114		11	(J) 文書・日誌類	備忘録 手帳 8 冊	昭和 28 年~	8
291	115		11	(A) 写真・写真帳	「東北産業博覧会写真」	昭和 3 年	1
292	116		11	(K) その他	羅紙、白紙	不明	61
293	117		11	(K) その他	「御焼香頃次は別紙二」	不明	1
294	118		11	(K) その他	「八幡 大村業治殿」	不明	1
295	119		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「あちらのくらし」	昭和 40 年	3
296	120		11	(K) その他	「多賀城町議会議員選挙広報」	昭和 30 年	1
297	121		11	(C) 封書・絵葉書類	『記念東輪』	不明	14
298	122		11	(K) その他	縫合表紙	不明	1
299	123		4	(B) 商業用具	『代理店会社関係』	不明	1
300	124		11	(J) 文書・日誌類	スクラップブック	昭和 20 年	1
301	125		11	(J) 文書・日誌類	「雁のゆきかひ 上」	明治 33 年~	1
302	126		1 (2)	(J) その他	諸縦(個人関係)	不明	9
303	127		11	(J) 文書・日誌類	『覚書』	昭和 15 年	1
304	128		11	(J) 文書・日誌類	『日露戰役從軍日誌』	明治 38 年	3
305	129		11	(J) 文書・日誌類	『落葉集』	昭和 11 年	16

306	130		6	(D) 神札・護符類	「今上陛下御誕筆」	不明	2
307	131		11	(K) その他	「玉潤書伯百晉會開催趣旨」	昭和(戦前)	1
308	132		11	(J) 文書・日誌類	「喧嘩しないで～」	不明	1
309	133		11	(J) 文書・日誌類	「萬物皆不減にして～」	不明	1
310	134		11	(C) 封書・絵葉書類	書簡（大村棄治宛て）	不明	1
311	135		11	(C) 封書・絵葉書類	「拜啓色々御指南～」（書簡 2枚）	不明	2
312	136		11	(J) 文書・日誌類	「大阪[]道其～」	不明	1
313	137		11	(K) その他	包紙（勿来開辟拓本）	不明	1
314	138		11	(J) 文書・日誌類	「來賓室別表」	不明	1
315	139		11	(F) 拓本・墨書	拓本（蘿満晩月）2枚	現代	2
316	140		11	(F) 拓本・墨書	拓本（吹風～）	不明	1
317	141		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	封筒「千代田生命保険相互会社」	不明	1
318	142		11	(J) 文書・日誌類	「八月三十一日在郵軍人解散告誦～」	不明	1
319	143		11	(J) 文書・日誌類	「昭和二十年八月二十五日陸海軍大人賜タル勅詔」	昭和20年	1
320	144		11	(J) 文書・日誌類	「八月十七日陸海軍人ニ勅語ヲ賜フ」	不明	1
321	145		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「厚真週報」（裏表紙）2枚	昭和13年	2
322	146		11	(C) 封書・絵葉書類	封筒「大村棄治殿」	不明	1
323	147		11	(J) 文書・日誌類	「大政翼賛会宮城郡支部出張命令通」	不明	1
324	148		11	(B) 地図・図面類	「足寄太市街細密図」	不明	1
325	149	I	11	(D) 絵画・錦絵・版画類	「大演習記念絵葉書」	明治24年	1
326	150		11	(C) 封書・絵葉書類	「謹啓跡々懲寒之候」（書簡）	不明	2
327	151		11	(F) 拓本・墨書	「伊藤聯隊長能～」	近代	1
328	152		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	名画写真（羊飼ひの女他3枚）	現代	3
329	153		11	(F) 拓本・墨書	拓本（物□人□～）	近代～現代	1
330	154		11	(J) 文書・日誌類	「身元引受人変更ノ件」	不明	6
331	155		11	(J) 文書・日誌類	「一金四円八拾錢也」	不明	1
332	156		11	(J) 文書・日誌類	「特免申請書について」	昭和24年	1
333	157		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「戰陣訓」	昭和16年	1
334	158		11	(J) 文書・日誌類	「江戸上り下里歌」	近代～現代	1
335	159		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「讀書」	昭和20年	1
336	160		11	(K) その他	「志おり」	不明	1
337	161		11	(K) その他	白紙・羅紙	不明	1
338	162		6	(I) その他	旗・浅間神社登拝記念	不明	1
339	163		8	(I) その他	タンポン	不明	2
340	164		1	(3) (H) その他	木札 多賀城第三号 大村	不明	1
341	165		11	(B) 地図・図面類	住宅新築設計図	不明	1
342	166		11	(K) その他	賞状等 大村亨	昭和4年～	9
343	167		11	(K) その他	叙勲・記念之章	大正4年～	4
344	168		11	(B) 地図・図面類	「根室支丁管内図」	不明	1
345	169		11	(F) 拓本・墨書	襷(揮毫)	不明	4
346	170		11	(F) 拓本・墨書	印刷拓本 2枚	不明	2
347	171		11	(K) その他	賞状等 大村 信	昭和2年～	3

348	172		11	(C) 封書・絵葉書類	封筒一括	昭和 18 年～	15
349	173		11	(F) 拓本・墨書	「皇師百萬之詩」	不明	1
350	174		11	(B) 地図・図面類	「函館区域図」	不明	1
351	175		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「軍事画報大賞記念号」	大正元年	1
352	176		11	(K) その他	キング付録重賞付一覧表	昭和 9 年	1
353	177		11	(K) その他	「納税期限一覧表」	昭和 11 年	1
354	178		11	(K) その他	「納税期限一覧表」	昭和 5 年	2
355	179		11	(K) その他	「戦友会規約」	不明	1
356	180		11	(B) 地図・図面類	「地図二十万分之一尺 福島島」	明治 40 年	1
357	181	I	11	(B) 地図・図面類	「明治 42 年特別大演習地図」3 箇	明治 42 年	3
358	182		11	(K) その他	「旧仙台藩同郷懇親会報告」	明治 43 年	1
359	183		11	(A) 写真・写真帳	「昭和天皇写真」	昭和 9 年	1
360	184		11	(A) 写真・写真帳	「東北新風景」	昭和 5 年	1
361	185		11	(C) 封書・絵葉書類	書簡 6 通	不明	6
362	186		11	(K) その他	「文具界特別意匠広告」	不明	1
363	187		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	東京日日新聞	昭和 17 年	1
364	188		11	(K) その他	保険募集一括	不明	3
365	189		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「ハイカラ婦人」	昭和 39 年	1
366	190		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「特別大演習陪観二回スル心得」	大正 14 年	1
367	191		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「写真週報」	昭和 15 年	2
368	192	I	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	河北新報 6 日分	大正 14 年～	6
369	193		11	(K) その他	祝包紙	不明	1
370	194		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	「扶桑第一峰」	昭和 9 年	1
371	195		11	(F) 拓本・墨書	キング付録揮毫 2 枚	昭和 9 年	2
372	196		11	(K) その他	感謝状 大村ねねよ	不明	1
373	197		11	(C) 封書・絵葉書類	書簡 4 通	昭和 28 年	1
374	198		11	(J) 文書・日誌類	手帳	不明	1
375	199		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	大繪公画像	昭和 10 年	1
376	200		11	(K) その他	医師関係一括	昭和 8 年	8
377	201		11	(K) その他	歯科関係一括	昭和	9
378	202		11	(K) その他	「利子積算仕分書」2 通	不明	2
379	203		11	(A) 写真・写真帳	「皇太子殿下最近の御尊影」	昭和 10 年	1
380	204		11	(B) 地図・図面類	「札幌区々城図」	不明	1
381	205		11	(K) その他	「有限責任北海道庁員購買組合販売品目一覧表」	明治 42 年	1
382	206		11	(K) その他	「領票」2 通「領票記入心得」	明治 41 年	1
383	207		11	(K) その他	包紙戦役関係書類	不明	1
384	208		11	(F) 拓本・墨書	「伊達政宗公真筆和歌」	昭和 10 年	1
385	209		11	(B) 地図・図面類	「東京都市市外全圖」	昭和 39 年	1
386	210		11	(B) 地図・図面類	「朝鮮里程全圖」	昭和 3 年	1
387	211		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞切り抜き 2 枚。「葛西氏事蹟の概要と其裔に就て」	大正 14 年	2
388	212		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「測図学教程」	明治 33 年	1
389	213		11	(B) 地図・図面類	「根室全圖」	不明	1
390	214		11	(B) 地図・図面類	「山東省地図」	大正 3 年	1

391	I	215	11	(B) 地図・図面類	「大日本現勢地図」	不明	1
392		216	11	(B) 地図・図面類	「根室町市街地図」	不明	1
393		217	11	(B) 地図・図面類	「圓西府県連合共進会全圖」	不明	1
394		218	11	(K) その他	「会葬御札差出奥海濱」	昭和 10 年	1
395		219	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞切抜き特別大演習	不明	1
396		220	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「海行かば」	昭和 18 年	1
397		221	11	(K) その他	「宮城県歯科医師会長発」	昭和 33 年	3
398		222	11	(K) その他	「美人印わたあつ姫に就いて」	昭和 33 年	1
399		223	11	(J) 文書・日誌類	「營業日誌商品有高帳」	不明	1
400		224	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「三十年式歩兵銃使用法草案」	明治 33 年	1
401		225	11	(K) その他	出納帳	不明	1
402		226	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「衛成服務規則」	明治 33 年	1
403		227	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	軍隊符号・付図	不明	2
404		228	11	(J) 文書・日誌類	「忘れな草」	昭和 20 年	1
405		229	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「馬術教範」	昭和 3 年	1
406		230	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「騎兵操典」	明治 45 年	1
407		231	11	(K) その他	「仙台?楽部規則」	明治 42 年	1
408		232	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「陸軍軍隊符号」	大正 6 年	1
409		233	11	(J) 文書・日誌類	「軍務野帳」	不明	1
410		234	11	(K) その他	「魔王山號名湯案内図絵」	大正 15 年	1
411		235	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「陣中衛生心得」	明治 37 年	1
412		236	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「西武強健術と触手療法」	不明	1
413	I	237	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「警察官ノ服膺スヘキ五ヶ条」	不明	1
414		238	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「日蓮聖人御遺文」	昭和 4 年～	1
415		239	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「通信宝鑑」	大正 4 年	1
416		240	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「三十年式歩兵銃及騎兵銃保存法」	明治 32 年	1
417		241	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「名言名調集」	昭和 11 年	1
418		242	11	(C) 封書・絵葉書類	絵葉書一括	不明	20
419		243	11	(K) その他	「成城学校出身将校名簿」	明治 30 年	1
420		244	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「軍隊手帳」	明治 33 年～	1
421		245	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「陸軍各兵科下士上等兵教育令」	不明	1
422		246	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「野外要務令」	明治 33 年～	1
423		247	11	(J) 文書・日誌類	日記 明治 39・40 年	明治 39 年～	3
424		248	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「日露会話」	明治 36 年	1
425		249	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「体操教範」	明治 42 年	1
426		250	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「担架術教科書」	明治 36 年	1
427		251	11	(K) その他	名簿用カード	不明	112
428		252	11	(J) 文書・日誌類	東北産業博覧会絵葉書	不明	1
429		253	11	(J) 文書・日誌類	絵葉書包装紙	不明	1
430		254	11	(C) 封書・絵葉書類	絵葉書一括	不明	25
431		255	11	(J) 文書・日誌類	「メートル器許可証」	不明	3
432		256	11	(J) 文書・日誌類	「劍術教範」	不明	1
433		257	11	(J) 文書・日誌類	「歩兵射撃教範」	不明	1
434		258	11	(J) 文書・日誌類	「任陸軍步兵少尉」	不明	1
435		259	11	(J) 文書・日誌類	「遣族賜與金」	不明	1

436	260	I	11	(J) 文書・日誌類	「戰死により特進」	不明	1
437	261		11	(J) 文書・日誌類	所屬一括	不明	1
438	262		11	(J) 文書・日誌類	叙位一括	不明	1
439	263		11	(J) 文書・日誌類	「台灣へ出張ヲ命ズ」	不明	1
440	264		11	(J) 文書・日誌類	「メモ」	不明	1
441	265		11	(J) 文書・日誌類	「北海道序封筒」	不明	1
442	266		11	(J) 文書・日誌類	「札幌市街図」	不明	1
443	267		11	(J) 文書・日誌類	「北海道道路予定図」	不明	1
444	268		11	(J) 文書・日誌類	「北海道全図」	不明	1
445	269		11	(J) 文書・日誌類	「日露■衝全局面大地图」	不明	1
446	270		11	(J) 文書・日誌類	「地形図足寄」	不明	1
447	271		11	(J) 文書・日誌類	「地形図十勝」	不明	1
448	272		11	(J) 文書・日誌類	「寺崎」	不明	1
449	273	I	11	(J) 文書・日誌類	「浦谷」	不明	1
450	274		11	(J) 文書・日誌類	「高清水」	不明	1
451	275		11	(J) 文書・日誌類	「二本松」	不明	1
452	276		11	(J) 文書・日誌類	「函峰」	不明	1
453	277		11	(J) 文書・日誌類	「古川」	不明	1
454	278		11	(J) 文書・日誌類	「北方」	不明	1
455	279		11	(J) 文書・日誌類	「矢本」	不明	1
456	280		11	(J) 文書・日誌類	「福嶋」	不明	2
457	281		11	(J) 文書・日誌類	「白岩」	不明	1
458	282	I	11	(J) 文書・日誌類	「矢吹」	不明	1
459	283		11	(J) 文書・日誌類	「須賀川」	不明	1
460	284		11	(J) 文書・日誌類	「松川」	不明	1
461	285		11	(J) 文書・日誌類	「広瀬」	不明	1
462	286		11	(J) 文書・日誌類	「堀川村」	不明	1
463	287		11	(J) 文書・日誌類	「吉田」	不明	1
464	288		11	(J) 文書・日誌類	「中新田」	不明	1
465	289		11	(J) 文書・日誌類	「大松澤」	不明	1
466	290		11	(J) 文書・日誌類	「松山」	不明	1
467	291		11	(J) 文書・日誌類	「岩出山」	不明	1
468	292		11	(J) 文書・日誌類	「須賀川」	不明	1
469	293		11	(J) 文書・日誌類	「熊野川」	不明	1
470	294		11	(J) 文書・日誌類	「吉岡」	不明	1
471	295		11	(J) 文書・日誌類	「小野」	不明	1
472	296		11	(J) 文書・日誌類	「鶴崎」	不明	1
473	297		11	(J) 文書・日誌類	「本宮」	不明	1
474	298		11	(J) 文書・日誌類	「三春」	不明	2
475	299		11	(J) 文書・日誌類	「瓶巣」	不明	1
476	300		11	(J) 文書・日誌類	「南郷」	不明	1
477	301		11	(J) 文書・日誌類	「樂船」	不明	1
478	302		11	(J) 文書・日誌類	「雞治谷沢」	不明	1
479	303		11	(J) 文書・日誌類	「大河原」	不明	1
480	304		11	(J) 文書・日誌類	「郡山」	不明	2
481	305		11	(J) 文書・日誌類	「村田」	不明	1

482	306		11	(J) 文書・日誌類	「吉岡近傍」	不明	1	
483	307		11	(J) 文書・日誌類	『町屋』	不明	1	
484	308		11	(J) 文書・日誌類	『眞理』	不明	1	
485	309		11	(J) 文書・日誌類	『増田近傍』	不明	1	
486	310		1 (1)	(D) 戦時間係	階級章	不明	1	
487	311		1 (3)	(D) 家具・調度	引出金具	不明	1	
488	312		11	(J) 文書・日誌類	『棚倉』	不明	1	
489	313		11	(C) 封書・絵葉書類	絵葉書一括	明治 40 年	24	
490	314		11	(E) 搬軸	搬軸	不明	1	
491	315	I	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「大正天皇 大喪儀両報」	昭和 2 年	1	
492	316		11	(D) 絵画・箋絵・版画類	松竹梅三幅対	昭和 12 年	1	
493	317		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『校則 日本外交』	明治 40 年	1	
494	318		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『前大平記 全』	明治 43 年	1	
495	319		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『實用百科大全』	明治 41 年	1	
496	320		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『作法文範 文章大觀 全』	大正 4 年	1	
497	321		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『新井石禅師 大講演集』	昭和 3 年	1	
498	322		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『修養全集』	昭和 3 年	12	
499	323		11	(B) 地図・図面類	十勝国全國	不明	1	
500	324	I	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『日清対訛 戰陣用語』	不明	1	
501	325		11	(C) 封書・絵葉書類	『樂書』	明治 39 年	5	
502	326		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	『軍制提要』	明治	1	
503	327		11	(J) 文書・日誌類	日記はか	明治	1	
504	328		11	(K) その他	名札	不明	1	
505	329		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	北海道里程帳	明治	1	
506	330		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞	明治 39 年	1	
507	331		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	台灣両報はか	昭和 12 年	7	
508	332		11	(J) 文書・日誌類	英文資料	昭和 24 年	1	
509	333		11	(J) 文書・日誌類	土本係河川調査はか	不明	1	
510	334		11	(F) 拓本・墨書き	大正天皇太皇御歌。	不明	1	
511	335		11	(A) 写真・写真帳	写真	不明	1	
512	336		11	(K) その他	卷物	不明	1	
513	337		11	(C) 封書・絵葉書類	絵はがき (写真)	大正 12 年	51	
514	338		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1	
515	339		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1	
516	340		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1	
517	341		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1	
518	342		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1	
519	343		11	(J) 文書・日誌類	文書類	不明	1	
					小計		1142	
520	001	J	11	(K) その他	写真現像機	昭和	1	
521	002		11	(A) 写真・写真帳	アルバム	昭和	9	
522	003		11	(A) 写真・写真帳	写真集	昭和	5	
523	004	J	11	(A) 写真・写真帳	写真集 - 砂押川の表情 -	昭和	6	
524	005		11	(A) 写真・写真帳	写真集 - 向山界隈地 -	昭和	5	
525	006		11	(A) 写真・写真帳	写真集 - むらの残像 -	昭和 59 年	1	
526	007		11	(A) 写真・写真帳	パネル写真	昭和	4	

527	J	008	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～塩釜の恋～	昭和 52 年	7
528		009	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～瑞巌寺庫裏～	昭和 53 年	3
529		010	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～朝の蘆生河口～	昭和 50 年	3
530		011	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～雪の風景～	昭和	6
531		012	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～田舎の寺社～	昭和 53 ～ 54 年	3
532		013	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～多賀城の風景～	昭和	8
533		014	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～工人～	不明	4
534		015	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～海とくらし～	昭和 45 ～ 55 年	9
535	J	016	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～お年寄りの表情～	昭和 52 ～ 60 年	5
536		017	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～子どもの遊び～	昭和 55 ～ 60 年	3
537		018	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～古い家～	昭和 52 年	2
538		019	11	(A) 写真・写真帳	パネル写真～都島～	不明	2
539		020	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「日本外史」	明治 26 年	8
540		021	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「明和新刊」	不明	4
541		022	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「小学外編」	不明	1
542		023	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「論語」	不明	4
543		024	11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「孟子」、「大学」	不明	5
				小計			108
544	K	001-1	1	(3) (D) 家具・調度	ふすま(紙)	不明	1
545		001-2	1	(3) (D) 家具・調度	ふすまのわく	不明	1
546		001-3	11	(J) 文書・日誌類	小割帳?	江戸	103
547		001-4	11	(J) 文書・日誌類	古文書	江戸	36
548		001-5	11	(J) 文書・日誌類	古文書	江戸	9
549		001-6	11	(J) 文書・日誌類	天保 9 年江刺郡蛭石村小割帳	天保 9 年	65
550		001-7	11	(J) 文書・日誌類	古文書	天保、嘉永	101
551		001-8	11	(J) 文書・日誌類	古文書	嘉永元年	18
552		001-9	11	(J) 文書・日誌類	古状帳	江戸	5
553		001-10	11	(K) その他	古紙	江戸	5
554		002-1	1	(3) (D) 家具・調度	ふすま(襖)	不明	0
555		002-2	1	(3) (D) 家具・調度	ふすまのわく	不明	1
556	K	002-3	11	(J) 文書・日誌類	「往来物」	江戸	32
557	K	002-4	11	(J) 文書・日誌類	「御家中御知行貞高帳」	江戸	12
558		002-5	11	(J) 文書・日誌類	僧・手紙・寺間係の諸文書	江戸	62
559		002-6	11	(J) 文書・日誌類	「懇割諸可而定露帳」施	江戸	92
560		002-7	11	(J) 文書・日誌類	御物成	江戸	31
561		002-8	11	(J) 文書・日誌類	古文書(人名一覧)	江戸	23
562		002-9	11	(K) その他	下貼り用紙	江戸	31
563		002-10	11	(J) 文書・日誌類	古文書断片	江戸	1
564		003-1	1	(3) (D) 家具・調度	長持	不明	3
565		003-2	11	(J) 文書・日誌類	日毎金高人名	不明	23
566		003-3	11	(K) その他	下貼り用紙	不明	1
567		003-4	1	(3) (D) 家具・調度	長持の金具	不明	4
568		004	11	(J) 文書・日誌類	足利氏系図	不明	1
569		005	11	(J) 文書・日誌類	(播磨点丁の呼称問合)	不明	1
570		006	11	(J) 文書・日誌類	稱宗君御書簡	不明	1

571	007		11	(J) 文書・日誌類	当将军様御判物之写	貞享元年	1
572	008		11	(J) 文書・日誌類	御往例御連歌	壬寅正月7日	1
573	009		11	(J) 文書・日誌類	大崎御系譜	不明	1
574	010		11	(J) 文書・日誌類	(大崎系譜)	不明	1
575	011		11	(J) 文書・日誌類	伊達氏十六世貞山大居士治家記録	不明	1
576	012		11	(J) 文書・日誌類	最上天童氏世系	不明	1
577	013		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
578	014		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
579	015		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)と表書(花火材料分)	不明	1
580	016		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
581	017		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
582	018		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	不明	1
583	019		11	(J) 文書・日誌類	(栗野氏系図)	不明	1
584	020		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏御爵代)	不明	1
585	021		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏過去帳)(日めくり)	不明	1
586	022		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏過去帳)	不明	1
587	023		11	(J) 文書・日誌類	(伊達家系図)	不明	1
588	024		11	(J) 文書・日誌類	後奈良天皇口宣案	天文15年	1
589	025	K	11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	江戸	11
590	026		11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	江戸	1
591	027		11	(J) 文書・日誌類	(俗謡本)	不明	1
592	028	K	11	(J) 文書・日誌類	(伊達治家記録)	江戸	1
593	029		11	(J) 文書・日誌類	(俗謡本)	不明	1
594	030		11	(J) 文書・日誌類	<飯坂出雲義>	江戸	1
595	031		11	(J) 文書・日誌類	船海狩野系図	不明	1
596	032		11	(J) 文書・日誌類	(系譜)<定義 肥後>	不明	1
597	033		11	(J) 文書・日誌類	<丁亥五月二日>	不明	1
598	034		11	(J) 文書・日誌類	(系図)<元宗嗣日理家>	不明	1
599	035		11	(J) 文書・日誌類	賴證様御自筆御書写	不明	1
600	036		11	(J) 文書・日誌類	(横印)<六尺三寸>	不明	1
601	037		11	(J) 文書・日誌類	威有院様御代御判物之写	不明	1
602	038		11	(J) 文書・日誌類	源姓最上天童氏世系	不明	1
603	039		11	(J) 文書・日誌類	知行目録	寛文3年	1
604	040		11	(J) 文書・日誌類	(系譜)<操松院殿巖宗貞居士>	不明	1
605	041		11	(J) 文書・日誌類	(系譜)<桑折播磨>	不明	1
606	042		11	(J) 文書・日誌類	源姓最上天童氏世系	不明	1
607	043		11	(J) 文書・日誌類	<兼頼公御事>	不明	1
608	044		11	(J) 文書・日誌類	諸家系図	不明	1
609	045		11	(J) 文書・日誌類	(天童家系図)	不明	1
610	046		11	(J) 文書・日誌類	知行目録	江戸	1
611	047		11	(J) 文書・日誌類	<忠宗公より嫡家>	江戸	1
612	048		11	(J) 文書・日誌類	(系図)	不明	1
613	049		11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
614	050		11	(J) 文書・日誌類	留メ <天童内記定義>	延宝3年	1

615		051		11	(J) 文書・日誌類	(跡目相続)	寛文 7 年	1
616		052		11	(J) 文書・日誌類	(天童氏系図)	不明	1
617		053		11	(J) 文書・日誌類	<家兼公>	不明	1
618		054		11	(J) 文書・日誌類	< - 義通公明応三年に義高と御改候事>	不明	1
619		055		11	(J) 文書・日誌類	(平氏系譜) <高見親王高望>	不明	1
620		056		11	(J) 文書・日誌類	<貞山様>	不明	1
621		057		11	(J) 文書・日誌類	源姓天童系図	不明	1
622	K	058		11	(J) 文書・日誌類	藤原氏伊達系図	不明	1
623		059		11	(J) 文書・日誌類	(系図) <人皇五十六代清和天皇>	不明	1
624		060		11	(J) 文書・日誌類	系図	不明	1
625		061		11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
626		062		11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
627		063		11	(J) 文書・日誌類	所有地字母絵図面	不明	1
633		069		11	(J) 文書・日誌類	内容不明	不明	1
634		070		11	(J) 文書・日誌類	(政宗履歴)	中世(文禄 4 年)	1
635		071		11	(J) 文書・日誌類	内容不明	江戸(万治 2 年)	1
636		072		11	(J) 文書・日誌類	<相馬盛胤・義胤>	不明	1
					小計		739	
637		001		1	(3) (D) 家具・調度	火鉢①	昭和 12 年	1
638		002		1	(3) (D) 家具・調度	火鉢②	不明	1
639		003		9	(G) 婚姻関係用具	火鉢③～⑥	不明	4
640		004		9	(L) その他	婚礼用膳①～②	不明	2
641		005		9	(L) その他	祝儀用膳①～③	不明	3
642		006		9	(L) その他	仏事用膳①～③	不明	3
643		007		9	(L) その他	仏事用二つの膳	不明	1
644		008		9	(L) その他	仏事用三の膳	不明	1
645		009		9	(L) その他	祝い膳 (方形、小) ①～③	不明	3
646		010		9	(L) その他	祝い膳 (方形、大) ①～③	不明	3
647	L	011	L	1	(2) (1) 飲食器	漆塗蓋付椀①～⑤	不明	5
648		012		1	(2) (1) 飲食器	漆塗小皿①～⑤	不明	5
649		013		1	(2) (1) 飲食器	漆塗中皿①～③	不明	3
650		014		1	(2) (1) 飲食器	漆塗中皿④	不明	1
651		015		1	(2) (1) 飲食器	漆塗中皿⑤	不明	1
652		016		1	(2) (1) 飲食器	漆塗杯①～⑥	不明	6
653		017		1	(2) (1) 飲食器	漆塗杯⑦	大正 13 年	1
654		018		1	(2) (1) 飲食器	漆塗杯⑧	不明	1
655		019		1	(2) (1) 飲食器	漆塗杯⑨	不明	1
656		020		9	(L) その他	祝い膳 (円形、小) ①～③	不明	3
657		021		9	(L) その他	祝い膳 (円形、大) ①～③	不明	3
					小計		52	
658	M	001	M	1	(2) (F) 酒造・製造用具	鉄鍋	昭和	1
					小計		1	
659	N	001	N	1	(1) (B) 結髪・化粧道具	鏡	不明	1
660		002		9	(F) 婚礼用具	櫃	不明	1

661	003		9	(F) 婚礼用具	朱塗り重箱	不明	1
662	004		9	(F) 婚礼用具	鏡子	不明	4
663	005		9	(F) 婚礼用具	脛	不明	2
664	006		9	(F) 婚礼用具	祝儀樽	不明	1
665	007-1		9	(F) 婚礼用具	祝儀膳	不明	14
666	007-2		9	(F) 婚礼用具	祝儀膳	不明	20
667	008		9	(F) 婚礼用具	脣・椀	不明	24
668	009		9	(F) 婚礼用具	鉢	明治5年	2
669	010		9	(F) 婚礼用具	対鏡子	不明	2
670	011		1 (2)	(B) 贯用具	壺	不明	4
671	012		1 (3)	(D) 家具・調度	花器	不明	1
672	013		1 (3)	(D) 家具・調度	手爐火鉢	不明	1
673	014-1		1 (3)	(D) 家具・調度	香炉	不明	1
674	014-2		1 (3)	(D) 家具・調度	香炉	不明	1
675	015		1 (2)	(C) 烹事用具	鉄壺	不明	1
676	016		1 (2)	(C) 烹事用具	茶釜	不明	1
677	017-1		1 (2)	(I) 飲食器	鉢	不明	2
678	017-2		1 (2)	(I) 飲食器	鉢	不明	1
679	018		11	(K) その他	土鍋器 (増)	4世紀	1
680	019		1 (2)	(D) 調理・調整具	擂鉢	不明	3
681	020		1 (2)	(I) 飲食器	皿	不明	2
682	021		1 (2)	(I) 飲食器	大皿	不明	3
683	022	N	1 (3)	(D) 家具・調度	蝶取器	不明	1
684	023	N	6	(C) 神事・法会用具	雲版	昭和7年	1
685	024		1 (3)	(D) 家具・調度	手爐火鉢	不明	2
686	025		1 (3)	(D) 家具・調度	火鉢	不明	1
687	026		1 (3)	(D) 家具・調度	火鉢用具一式	不明	7
688	027		1 (3)	(D) 家具・調度	燭台	不明	2
689	028-1		4	(C) 計算・計量具	竿秤	不明	2
690	028-2		4	(C) 計算・計量具	竿秤	不明	2
691	029		7	(A) 教育施設・用具	筆箱	不明	1
692	030-1		7	(A) 教育施設・用具	文箱	不明	1
693	030-2		7	(A) 教育施設・用具	文箱	不明	1
694	031		4	(B) 商業用具	文箱	文化11年	1
695	032		1 (2)	(E) 保存・加工具	重箱 (三重)	不明	1
696	033		1 (2)	(E) 保存・加工具	重箱 (二重)	不明	1
697	034		1 (2)	(J) その他	脣	不明	2
698	035		1 (3)	(D) 家具・調度	木箱	不明	7
699	036		1 (2)	(J) その他	盆	不明	2
700	037		1 (2)	(J) その他	盆	不明	9
701	038		1 (2)	(J) その他	脣	不明	8
702	039		1 (2)	(C) 烹事用具	桶	不明	5
703	040		1 (2)	(C) 烹事用具	桶	不明	2
704	041		1 (2)	(J) その他	脣	不明	8
705	042		4	(C) 計算・計量具	升	不明	4
706	043		1 (2)	(C) 烹事用具	瓶瓶	不明	2

707	N	044	1	(2)	(1) 飲食器	皿	明治 22 年	16
708		045	1	(2)	(1) 飲食器	皿	不明	18
709		046	1	(2)	(1) 飲食器	皿	不明	17
710		047	1	(2)	(1) 飲食器	小鉢	不明	4
711		048	1	(2)	(1) 飲食器	小皿、惣	不明	25
712		049	1	(2)	(1) 飲食器	小鉢、茶碗	不明	21
713		050	1	(2)	(1) 飲食器	蓋付井	不明	5
714		051	1	(2)	(1) 飲食器	湯呑茶碗	不明	33
715		052	1	(2)	(1) 飲食器	刺身皿セット惣	不明	28
716		053	1	(2)	(G) 嘉好品用具	徳利、杓	明治	15
717		054	1	(2)	(G) 嘉好品用具	徳利、盃、杓	不明	22
718		055	11	(F)	拓本・墨書	額装 墨書	江戸か大正	1
719		056	11	(F)	拓本・墨書	額装 墨書	不明	1
720		057	11	(F)	拓本・墨書	額装 教育輸語	昭和 23 年	1
721		058	1	(3)	(D) 家具・調度	屏風	不明	1
722		059	1	(3)	(D) 家具・調度	屏風	不明	1
723		060	11	(F)	拓本・墨書	額装 墨書	明治 28 年か?	1
724		061	11	(D)	絵画・箋絵・版画類	屏風	明治 28 年か?	1
725		062	2	(8)	(B) 織工用具	ミシン	不明	1
726		063	1	(2)	(B) 窓戸用具	櫛	不明	1
727		064	1	(3)	(F) 建築習俗用具	上棟式札	大正 15 年	1
728		065	11	(I)	学校教育用品類	「中等教科練習用國文典」	大正 13 年	1
729	N	066	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「六書」	不明	1
730		067	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「樂隱武士道精義」	昭和 19 年	1
731		068	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「新題林和歌集」	不明	1
732		069	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「碧嚴集講話」	不明	1
733		070	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「古今寔錄参考 濱平盛資記」	明治 16 年	1
734		071	11	(I)	学校教育用品類	「幾何学教科書」	明治 40 年	1
735		072	11	(J)	文書・日誌類	「つどいの跡 蒼年團大会記録」	大正 15 年	1
736		073	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「十二月帖」	不明	1
737		074	11	(I)	学校教育用品類	「中等國語讀本」	不明	1
738		075	11	(I)	学校教育用品類	「尋常小学校本」	不明	1
739		076	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「窮理圖解」	明治元年	1
740		077	11	(I)	学校教育用品類	「小学地理」	明治 37 年	1
741		078	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「FOUR SHORT STORIES」	昭和 39 年	1
742		079	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「新國文典」	明治 45 年	1
743		080	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「漢文新讀本」	大正 14 年	1
744		081	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「庭訓往来」	不明	1
745		082	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「町人?底拂」	江戸	1
746		083	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「輸入通俗」	明治 20 年	1
747		084	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「校正 日本書」	不明	1
748		085	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「中庸」	不明	1
749		086	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「現代用語の基礎知識」	昭和 24 年	1
750		087	11	(G)	書籍・雑誌・新聞類	「新選地誌」	明治 20 年	1

751	N	088		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「格物入門和解」	明治 42 年	1
752		089		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「四書鈔」	不明	1
753		090		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「解理答」	不明	1
754		091		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「諺用集」	不明	1
755		092		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「新令字解」	不明	1
756		093		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「讀史廣益 王篇索引」	明治 20 年	1
757		094		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「樂訓」	安政 5 年	1
758		095		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「小学国語読本」	明治 33 年	1
759		096		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「カインの末裔」	大正 7 年	1
760		097		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「類題と歌集」	不明	1
761		098		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「商賈往来」	文政 13 年	1
762		099		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「大学」	明和 8 年	1
763		100		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「世話千字文」	天明	1
764		101		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「吉宗縣宮城郡統計書」	明治 39 年	1
765		102		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「萩陽帖」	天保 2 年	1
766		103		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「Standard Choice Readers」	明治 40 年	1
767		104		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「難經本義」	不明	1
768		105		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「開卷百笑」	不明	1
769		106		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「南池記序」	不明	1
770		107		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「義工明麗」	不明	4
771		108		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「神路夜話」	不明	1
772	N	109		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「少年餘響」	不明	1
773		110		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「西画指南」	明治 4 年	1
774		111		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「古今算法記」	不明	2
775		112		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「神路夜話」	不明	2
776		113		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「三省錄」	文久 2 年	2
777		114		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「国技武道」	天保 8 年	2
778		115		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「十八史略讀本」	不明	2
779		116		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「尊蒙國史略」	不明	2
780		117		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「鎮西荷池草記」	不明	2
781		118		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「文章執範評林」	明治	2
782		119		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「続文章執範評林注釈」	不明	2
783		120		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「皇朝史略」	不明	4
784		121		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「続 皇朝史略」	不明	3
785		122		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「瀧翰譜」	不明	4
786		123		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「武将感狀記」	不明	2
787		124		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「世界都路」	不明	3
788		125		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「通俗東漢紀事」	不明	5
789		126		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「近代正說辨玉篇」	不明	3
790		127		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「論語」	不明	4
791		128		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「孟子」	不明	3
792		129		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「博覽古言」	不明	5
793		130		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「婦人寿草」	不明	6
794		131		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「惜憲漫筆」	不明	4
795		132		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「落葉集」	不明	5

796	N	133		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「童蒙をしへ草」	不明	5
797		134		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「耳袋」	不明	5
798		135		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「校訂標註 十八史略談本」	不明	5
799		136		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「国史略」	不明	4
800		137		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「談史餘論」	萬延元年	12
801		138		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「真田三代記」	不明	10
802		139		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「近世事情」	不明	9
803		140		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「国史摘要」	不明	7
804		141		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「俳句雑誌」	大正、昭和	18
805		142		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「日本政記」	明治	10
806		143		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「太平記」	明治	12
807		144		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「常山紀談」	不明	14
808		145		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「通俗漢楚草談」	不明	15
809		146		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「通俗列国志 十二朝軍談」	正徳	14
810		147		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「通俗演義三国史」	不明	23
811		148		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「後庄培続大嘆益会玉篇大全」	明治	10
812		149		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「太閤真顕記」	不明	27
813		150		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「四書餘論」	不明	10
814		151		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「續注唐宋八家文譜本」	明治 18 年	16
815		152		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「古今武家盛衰記」	不明	16
816		153		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「野史」	不明	47
817		154		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「讀蒙大日本史」	不明	35
818	N	155		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「資治通鑑」	明治 26 年	70
819		156		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「啓蒙 日本外史」	明治 8 年頃か?	34
820		157		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「増補 日本書」	明治 9 年	12
821		158		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「啓蒙 国史略」	明治 8 年	8
822		159		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	「大日本史」	文化 7 年	96
823		160		1	(3) (D) 家具・調度	衣装箱	不明	1
824		161		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	1
825		162		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	1
826		163		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	2
827		164-1		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	1
828		164-2		1	(3) (D) 家具・調度	木箱	不明	1
829		165		1	(3) (D) 家具・調度	集子箱	不明	2
830		166		1	(3) (B) 住居	棊札	嘉永 5 年	1
831		167		11	(A) 写真・写真帳	人物写真	大正 4 年	1
832		168		11	(C) 封書・給業書類	業書き	不明	1
833		169		11	(J) 文書・日誌類	書簡	大正 3 年	1
834		170		11	(J) 文書・日誌類	卒業証書	明治 44 年	1
835		171-1		11	(J) 文書・日誌類	賞状	大正元年	1
836		171-2		11	(J) 文書・日誌類	賞状	大正元年	1
837		172		11	(G) 書籍・雑誌・新聞類	新聞号外	明治 45 年	2
838		173		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	桜井駿駒公教訓圖	不明	1
839		174		11	(D) 絵画・錦絵・版画類	宮中三殿並三大祭典御圖	明治 41 年	5
840		175-1		11	(E) 挂軸	掛軸	不明	1
841		175-2		11	(E) 挂軸	掛軸	昭和	1

842		175-3	N	11	(E) 挂軸	掛軸	不明	1	
843	N	175-4		11	(E) 挂軸	掛軸	不明	1	
844		176		11	(D) 絵画・篠絵・版画類	絵画	不明	1	
小計								1072	
合計								3489	

資料調査風景写真



資料記録作業



下張り剥がし作業



下張り剥がし作業（2）

(5) 水損文書の応急処置

1 発見から処置までの経過

震災から2ヶ月経過した5月10日、津波で浸水した住宅から古文書が発見されたとの連絡を受け、所有者宅に向かい漆塗りの文箱や引き出しに入った文書、冊子があることを確認した。2ヶ月が経過しているにも関わらず、いずれの資料も濡れたままの状態であり、文箱に入った文書は表面上にカビなどは発生していなかったが、引き出しに入ったものについては、カビが発生していることを確認した。

5月11日、エタノールが500ml入手できたことから、水没資料に噴霧した。また、状態を急激に乾燥させないため、パリアフィルム（商品名エスカル）で資料を梱包した。

5月12日、仙台市博物館の古文書の専門家に資料を実見してもらった。資料を市で預かり応急処置を実施した方が良いとの助言を受け、所有者の了承を得た上で埋蔵文化財調査センターに資料を搬入した。

資料搬入後、どのような処置をすべきか見当もつかなかっただけで、写真撮影した上でエタノールを噴霧し、パリアフィルムで梱包した。冷凍すべきであったが、冷凍庫が確保できなかつたため常温で保管した。

5月13日、気温が高い時期であったことから、冷凍庫や保存処理の受け入れ先が決まるまでの間、少しでも低い温度で保管するため、クーラーボックスを確保し保冷剤を入れて保管した。保冷剤については1日2回（朝夕）交換し、クーラーボックス内の温度についてはデータロガーで記録した。

2 応急処置

5月24日、一部の資料で腐食臭がしたことから、早急に応急処置を実施する必要があると判断、資料が70点ほどであったことから、本市教育委員会で応急処置を実施することとした。冊子についてはスクウェルチ・パッキング法、1枚ものの古文書については吸水法による処置を開始し、以後5月30日までの間、毎日2回吸水紙を取替えながら実施した。

吸水法で処置した古文書については、重なった紙を丁寧に剥がしながら吸水させ、5月30日に処置が終了したが、カビ等により腐食しているものに関しては、固着して剥がれない状態になっていた。スクウェルチ・パッキング法で処置していた冊子については、なかなか水分が減らない状況であったことから、冷蔵庫が確保できたこともあり、温度を2度に設定した上で保管することとした。また、処置を実施していない巻子状の古文書についても、同様に保管した。

なお、これらの処置については、東北歴史博物館のご教示や5月10日に東京文化財研究所で開催された「被災文化財レスキュー事業情報共有・研究会」で配布された資料を参考にしながら実施した。

3 応急処置後

吸水法による応急処置で多くの資料は腐食を止めることができたが、カビなどにより固着してしまった文書が見られたことや、巻子状の古文書を、どのように処置すべきか判断できなかつたことから、東北芸術工科大学文化財保存修復センターの半田教授、大山研究員に相談し、東北芸術工科大学で修復を実施してもらうこととした。

また、スクウェルチ・パッキング法で実施した冊子については、なかなか水分が減らないことから東北歴史博物館に相談したところ、真空凍結乾燥法で実施することとなった。

吸水法により実施した資料については、東京文書救援隊の文書復旧システムを導入し、脱塩のための洗浄とフラットニング処置を行った。

4 課題・問題点

今回の震災はあまりにも被害が大きく、行政の中の文化財担当職員が震災後の対応に追われる中での作業であり、対応が後手になったことは否めない。

また、個人所有の資料について、被災文化財レスキュー事業では、応急処置は無償で実施してもらえるとのことであったが、処置後の輸送費については費用負担を求めるとの情報があった。被災した文化財の所有者は被災者でもあり、そのような中、所有者に対し費用負担を強いることは難しく、遠方での応急処置は二の足を踏んでしまう現状があった。

今回のような大きな災害で多くの資料を守るには、近隣での応急処置を実施する拠点や仕組みづくりが今後必要であろう。



発見された水損文書



エタノール噴霧



東北芸術工科大学での応急処置



文書復旧システム実施状況

7. まとめ

(1) 主な倉の構成と年代

今回の倉の調査によって確認された189棟の倉を概観して見ると、分布的には南宮が39棟と最も多く、次いで八幡が35棟、市川が32棟所在しており、この3地区が群を抜いている。この他では、新田が18棟、山王が15棟で続いている。地域的には、西部地域と八幡地区に集中していることが伺える。西部地域の中でも、南宮・山王・市川は、塙竈街道沿いの地域に位置し、この3地区的倉の割合は全体の45%を占めている。塙竈街道は、近世には仙台城下から岩切を通って市川橋から陸奥総社宮、そして塙竈神社へ通じる主要な街道であり、沿道には、江戸時代以来の農村集落が営まれている。

倉の種類別の割合をみると、板倉が135棟、石倉30棟、土蔵24棟の順で、板倉が全体の71%を占めている。地区別にみると、板倉は南宮27棟、市川23棟、八幡17棟の順となる。これ以降は新田16棟、山王14棟で続いている。

次に石倉は全体の16%で、地区別では、八幡が半数の15棟を有する。2位の南宮が5棟、3位の高橋が3棟であることから、石倉は圧倒的に八幡に多く分布していることが判明した。これは、建築時期にややばらつきがあるものの大正8年（1919）に起きた八幡の大火によって、広い地域が焼失したことから火災に強い石倉を建築することになったものと思われる。石材は、野蒜石を使ったものがほとんどである。

土蔵については、全体の13%で最も少ない割合を示している。地区別では、南宮と市川が7棟で同数をもっている。その他では、八幡が3棟、高崎と笠神で2棟を数えるが、倉の棟数が多い新田では1棟のみであり、山王では全く確認されていない。

最後に、倉を所有する軒数と倉の棟数を比較すると、軒数156に対して棟数189と33棟多い数値を示している。これは、複数の倉を所有することを意味しており、その構成について概略的に記述しておきたい。

倉の構成をみると、次のように分類される。

- (イ) 板倉+板倉……15軒
- (ロ) 板倉+土蔵……9軒
- (ハ) 土蔵+土蔵……1軒
- (ニ) 石倉+石倉……1軒
- (ホ) 土蔵+石倉……1軒
- (ヘ) 板倉+土蔵+土蔵……2軒
- (ト) 板倉+土蔵+石倉……1軒

このように複数の倉を持つ軒数は、156軒中30軒で全体のおよそ20%弱であるが、倉の構成は、7つに分類されることが明らかとなった。そのうち、30軒中半数が(イ)の板倉2棟で構成されるものである。次いで(ロ)の板倉と土蔵の組合せが9軒あり、これら2種類が際立っている。地区別では南宮と市川に多く、特に市川では20軒中11軒に複数の倉が建築されている。また、3棟で構成される倉も存在することが明らかになった。軒数的には3軒と少ないが、それぞれの用途に応じた役割をもつて

建築されていたものと思われる。

ここで、倉の年代について今回の調査結果から知り得た範囲で簡単に触れておきたい。倉に関する聞き取り調査で、倉の年代がある程度把握できた。全体のおよそ 65%に当たる 124 棟で建築された時代を知ることが出来た。内訳は、江戸時代が 15 棟（板倉 13 棟、土蔵 1 棟）、明治～大正時代が 66 棟（板倉 55 棟、石倉 1 棟、土蔵 10 棟）、昭和時代のものは 43 棟（板倉 21 棟、石倉 21 棟、土蔵 1 棟）である。倉の年代については、やや不確実なところもあるが、調査時に話しおこが出来た家人からの聞き取りであることを付け加えておきたい。

しかし、この中には、棟札がある倉や内面に墨書きされているものもあり、確實に建築年代が判明したものもある。記載されているその内容も多岐に及んでいるが、紙面の関係があるので、ここではその一部を紹介することに留めておきたい。

資料 1 は、市川の石倉の棟札である。建築年代「昭和拾七年四月」と記されており、建築主と岩工 3 人と大工の名前が板材に墨書きされている。棟札は、石倉の内部を木材で 2 階建てにしており、その 2 階部分の入り口上部に付けられていた。

資料 2 は、市川の板倉に記された墨書銘である。墨書きされている場所は、西側妻柱の中央の柱である。文字は 2 行にわたって漢文で記されている。以下に読み下しを記述する。

「荒歳を忘る勿れ、利潤を貪る勿れ、備伍を貸す勿れ、俊勤を怠る勿れ、大切に臨みては宜しく時機に順ずべし、時 天保六年初夏吉辰の造立也、志賀信濃守藤原廣喜書す、市川邑大工棟梁齋三郎」

この文の内容からみて、志賀家に伝わる「家訓」を記したものと思われる。建築年代は、文中に記されている天保六年（1835）の年である。さらに、大工棟梁は地元市川にいる人物であることも解った。

この他にも年代が解る板倉や土蔵が複数確認されている。墨書きされているものや記録があるものから建築年代をみると、江戸時代の弘化 4 年（1847）、嘉永 5 年（1852）、文久 3 年（1863）等の年号が記されている。また、明治時代のものとしては、明治 3 年（1870）、明治 8 年（1875）、明治 14 年（1881）をはじめその他にも多くの板倉の建築年代を知ることが出来る。

さらに、大正から昭和にかけても倉の建築が行われており、この建築時期については、大正 8 年の八幡の大火、昭和 17 年の海軍工廠の建設による中谷地など沖区の強制移転等の要因が考えられる。

（資料 1）



棟札のある石倉



梁に掲げられた棟札

(資料2)



墨書きのある板倉



棟札のある板倉



墨書 1

(柱に記された墨書き銘)

勿忘荒歲
勿貲利潤
勿怠儉勤

臨大切宜順時機

旨天保六年初夏吉辰造立也

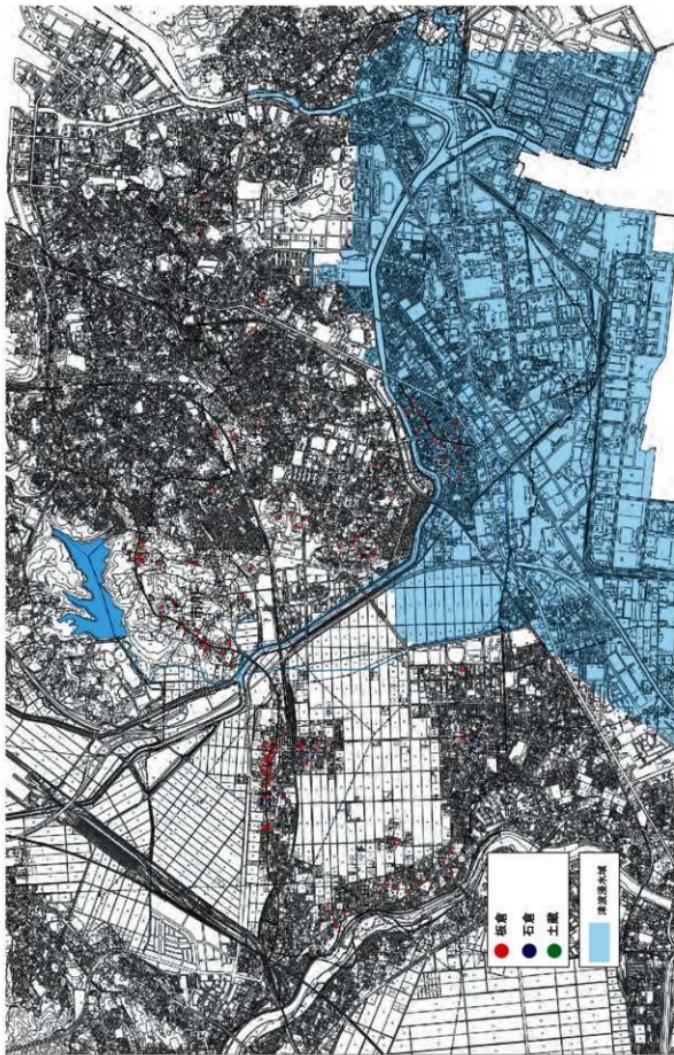
志賀信濃守藤原廣喜書

市川邑天工種業
齋三郎



墨書 2

第8図 魚の分布図



倉の写真



石倉 1



石倉 2



石倉 3



土蔵



板倉



複数の倉 1 (板倉・土蔵)



複数の倉 2 (板倉・土蔵)



複数の倉 3 (土蔵・土蔵)

(2) 板倉の構造的特徴について

多賀城市内に所在している板倉の構造について、まとめておきたい。

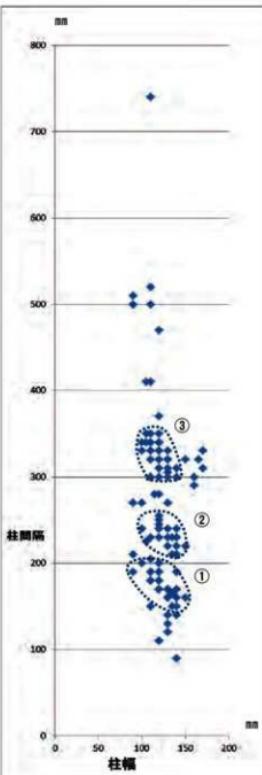
板倉の特徴として第1に上げられるのは、柱間隔が極端に狭く、柱と柱の間に板材をはめ込んだ「繁柱板倉」と呼ばれる倉の存在が上げられる。この形式の板倉は、主に宮城県北と岩手県南の地域に見られることが知られている（註）。次に板倉の柱幅と柱間隔について見てみると、柱幅は90mm～170mmの範囲に含まれるが、柱間隔は、90mm～740mmまで広い値を示している。つまり、柱間隔には、柱幅と同じ幅をもつものからかなり幅広いものまで、多様な形態が認められる。しかし、柱幅と柱間隔について数値データを図表化（第9図）してみると、柱間隔の数値分布が3カ所集中している所がある。数値の低い方から上げると、①150mm～200mm、②210mm～250mm、③300mm～350mmの範囲に集中している傾向が見られた。これらの柱幅と柱間隔の比率をみてみると、柱幅1に対して柱間隔の値は①が1.0～2.0、②が1.5～2.4、③が2.2～3.3となる。このように柱間隔に違いがあるものの、倉の外周には数十本の柱が林立する外観は、極めて特異な構造であると言えよう。

さらに、数値分布グラフでも明らかなように、柱間隔が400～500mmを持つものもあるが、1棟だけ柱幅110～120mm、柱間隔740～780mmの倉が存在する。この板倉は、八幡にあるもので、倉の入り口上部に「恩賜郷倉」銘の銅板札が打ち付けられているものである。恩賜郷倉とは、昭和9年東北地方の凶作に心を痛められた天皇の命によって、翌年の昭和10年から東北地方に米の備蓄を目的に建設されたものである。郷倉は、当時の村単位で設置されていたが、現在ではほとんど遺ってはおらず市内では、唯一笠神に石倉が現存しているだけである。

柱と柱の間を埋める板材は、ほとんどが横にはめ込む形式のもので、板の幅は150～500mmのものまで様々である。また、極少数ではあるが一枚板を縦にはめ込む形式のものも確認している。

屋根は、ほとんどが瓦葺きで一重のものと二重の屋根を持つものがある。瓦屋根はその多くが葺き替えされており、古くは茅葺きであったと言われている。

入り口は、妻入りと平入りがあり、その庇も入り口部のみに付くものと全体に付くものとがある。平入り入り口面全体に付く庇は、正面から見ると重層構造を呈しており、景観的に重厚な雰囲気を醸し出している。また、装飾につ



第9図 板倉の柱幅と柱間隔の数値分布グラフ

いては、腕木や持ち送りに彫刻を施したり、神社建築を模したもの、欄間を付けたものなど大工棟梁の巧みの技を感じさせるものもある。さらに、ごく少数ではあるが、入り口扉や板倉外面に赤色や黒茶色の塗装を施しているもの、扉が三重（観音扉、引き戸、格子戸）、二重（引き戸、格子戸）のものなどもあることが明らかになった。

倉の内部は、穀物の貯蔵を主な目的として建築されたこともあり、ほとんどは、天井のない広い空間を持っていたが、一部二階建てのものや壁面周囲に棚を造り付けたものなども認められた。そこには、冠婚葬祭用の什器や生活用具、長持ちなども保管していた。また、米は、お金と同じ価値を持っていたことから、商品との交換として使われたこともあり、倉をネズミから守るための「ネズミ返し」が入り口部に付けられている。

次に、板倉の外周に竹や板材を立て掛け、軒下を欄状に巡らしているものがある。また、板倉の外面に袴状に板材を打ち付けているものも認められた。さらには、切り妻屋根の破風に板材を打ち付けて暖簾状に化粧しているものもある。これらの付帯施設は、雨や雪、風、暑さ避けのために作られたもので、倉を大切に考える住民の意識の深さが感じられる。

最後に、板倉の配置について見てみると、そのほとんどが主屋と対面する位置に置かれている。板倉は、元々米倉として建築されたものであり、主食として大切な食料を盗難や火災等から守るために、入り口も常に家主の目が届く位置に配置されたものと考えられる。このことは、塩竈街道沿いにある南宮や山王地区の住家において、現在主屋と板倉の配置が異なる場合でも、そのほとんどが元々の母屋の位置が板倉と対面する場所にあったことを確認していることからも、確立された配置形式であると言える。

（註）高橋恒夫「近世在方集住大工の研究」中央公論美術出版 2010



繁柱板倉



繁柱板倉



郷倉として使われた板倉



「恩賜郷倉」銅製銘板



二重屋根の板倉



平入りの板倉



入り口扉に塗装された板倉



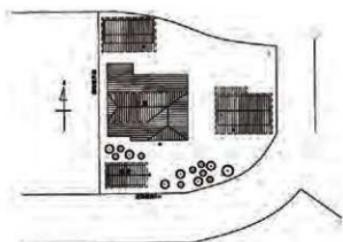
竹垣を囲した板倉



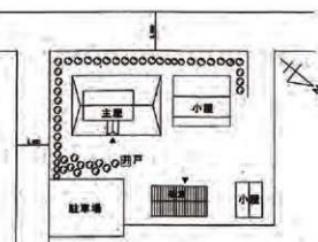
板机を囲した板倉



破風に化粧された板倉（2）



記図 (1)



記図 (2)



先祖の名前を入れた鬼瓦



装飾された持送りと腕木



入り口の二重屏



木鼻付腕木と棟組



入り口の引き戸



彫刻付の持送り



入り口のネズミ返し



彩色された持送り



倉の扉



腕木付小窓



倉の見える風景



倉の見える風景（2）



街道に面した板倉



街道に面した板倉（2）



街道に面した倉の風景



街道から見える倉の風景

(3) 保全資料の処置と記録作成

ここではレスキューしてきた資料の現状と今後の処置の方向について、文書関係・歴史資料関係・民俗資料関係に分けてまとめてみたい。

文書資料は、現在埋蔵文化財調査センター及び多賀城史遊館の2カ所に仮収蔵されている。すべての資料の台帳登録・登録カードを作成した。

このうち多賀城史遊館に所在する資料については、資料カードも作成し当該資料にすべて添付したうえで、所有者ごとに分けて収蔵庫にて保管している。天童家から搬入したふすまの下張り文書の一部については解説も行った。ふすま以外の文書については、宮城学院女子大学J.F.モリス教授の指導を得ながら解説を進めている。しかし、文書の多くは、津波による海水の塩分を含んでいるため文書復旧システムを導入し、脱塩のための洗浄とフラットニング処置を実施した。今後は多賀城市埋蔵文化財調査センター内の空調設備等の整った収蔵庫に保管し燐蒸処理するとともに、解説作業をはじめ、詳細な調査・研究を継続的に進めていく予定である。

歴史資料関係の資料には、新聞・日記・書籍・地図などがある。中には、日露戦争当時の新聞、日露戦役従軍日誌などの貴重な資料も存在する。現在、これらの資料は多賀城史遊館に仮収蔵され、台帳登録・登録カードの作成及び資料カードの添付も完了した。津波の被害を受けた資料については脱塩作業を実施するとともに、保存管理のうえで空調設備等の整った収蔵庫に保管するほうが望ましいと考えられる資料については、多賀城市埋蔵文化財調査センターに移動させる予定である。今後、これらの資料についても詳細な調査・研究を継続的に進めていく予定である。

民俗関係の資料については、台帳登録・登録カードの作成及び資料カードの添付も完了し、多賀城史遊館に仮収蔵されている。今後、これらの資料についても文書や歴史資料と同様に詳細な調査・研究を継続的に進めていく予定である。

また、「文化財レスキュー活動報告展—東日本大震災と多賀城市的文化財—」として、レスキュー活動や資料整理活動の概要、レスキューした主な資料を報告するための展示を平成24年3月10日（土）から6月10日（日）までの予定で、多賀城史遊館第2展示室で開催している。会期中の4月21日（土）には、「文化財レスキュー活動報告会—東日本大震災と多賀城市的文化財—」を多賀城市文化センターで開催する予定である。さらには、資料の調査・研究の進展に合わせて、それらの企画展示や報告書の刊行などを随時実施していきたいと考えている。

8. おわりに

最後に、震災と歴史遺産の保存及び課題について述べたい。

4月になって、ようやく市内にある文化財の被災状況についての確認作業が行えるようになったが、その対象はこれまで把握しているものに限られた。

歴史遺産を後世にまで守り伝えるには、市民と行政が手を携えて、身の回りにある歴史遺産にも目を向け、地域の歴史を物語る上でかけがえのないものであるという認識をもつことが大切である。そのため

めには、日ごろより情報発信を積極的に実施する必要がある。

それと並行して、歴史遺産の所在確認を実施し、台帳作成を行うことも急務である。これが整備されれば、万が一災害に見舞われた際にも、被災状況の確認が容易に進められ、いち早く保全の手も差し伸べられるであろう。

また、資料調査に基づき、歴史的価値の高いものについては、指定や登録などの措置を行い、保護していくなければならない。

そして、今回の活動内容なども踏まえながら、様々な文化財を指定の有無、類型の違いにかかわらず総合的に把握し、さらに周辺の環境も含めて一体のものとして捉えていくことが重要である。地域の歴史文化を保護・保存・活用していくためにも、こうした作業を通して、将来歴史文化基本構想を策定していくたいと考えている。

一方、今回のような大災害では、地域を越えた自治体の応援が不可欠である。また、多岐にわたる専門分野の職員の派遣など、人的支援体制も必要となると考える。そのためには、常日頃から地域を越えた連携を図ることが大切である。

地域に所在する各種の文化財は、その土地の記録を示す大切な歴史遺産である。災害の記録は、その土地に刻まれた歴史の中に息づいている。これまででも様々な災害を乗り越えて地域社会が営まれてきた。したがって、その土地の歴史を正しく理解することこそが地域の災害対策に役立つことになり、将来像を描くために必要な資料となる。震災を乗り越える地域の再生には、産業の振興や人々の暮らしの再生、新たな災害対策の強化は勿論のことではあるが、その地域がもっている特性（風土）、役割を再認識することが大切であると考える。それは、地域の歴史・文化に裏付けられた地域の再生である。

この度の当市の文化財レスキュー活動は、私たちだけの力では不可能であった。これを実現出来たのは、福岡県太宰府市、三重県明和町、神奈川県小田原市そして東京都国分寺市の文化財担当職員の協力があったからに他ならない。記して感謝を申し上げる次第である。

最後に、東日本大震災における当市の文化財レスキュー活動にあたり、調査を快く受け入れて頂いた所有者の方々、御支援・御協力を頂いた関係各位に対し、改めて心から感謝を申し上げる。

多賀城市文化財調査報告書第 110 集
文化財 レスキュー活動報告書
—東日本大震災における倉の調査と資料の保全—

平成 24 年 3 月 31 日発行

編集 多賀城市教育委員会文化財課
多賀城市中央二丁目1番1号
電話 (022) 368 - 1141

発行 多賀城市教育委員会

印刷 今野印刷株式会社
仙台市若林区六丁の日西町2番10号
電話 (022) 288 - 6123
